

主要農作物品種審査会

日 時：令和7年2月3日（月）
午後2時から午後4時まで
会 場：県行政庁舎11階 第二会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 報告及び審議

(1) 水 稻

イ 報 告 資料1、資料6

令和6年度水稻優良品種決定調査成績

□ 審 議 資料2

水稻優良品種「ヒメノモチ」、「こもちまる」を廃止することについて
令和7年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について

(2) 大 豆

イ 報 告 資料3、資料7

令和6年度大豆優良品種決定調査成績

□ 審 議 資料4

大豆優良品種「すすほのか」を廃止することについて
令和7年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について

5 その他

6 閉 会

■配付資料

資料1 水稻 報告事項 令和6年度水稻優良品種決定調査成績
資料2 水稻 審議事項
資料3 大豆 報告事項 令和6年度大豆優良品種決定調査成績
資料4 大豆 審議事項
資料5 参考資料
資料6 スライド資料 水稻 令和6年度水稻優良品種決定調査成績
資料7 スライド資料 大豆 令和6年度大豆優良品種決定調査成績

出席者名簿

【委員】

役 職	氏 名	所属及び職名	出欠
会 長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科 教授	出席
副会長	佐々木 利幸	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長	出席
副会長	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事	出席
委 員	大川 亘	尚絅学院大学総合人間科学系 准教授	出席
委 員	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群 准教授	出席
委 員	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長	出席
委 員	石川 宣子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事	出席
委 員	大崎 早苗	宮城県農業士会 宮城県指導農業士	出席
委 員	阿部 祐子	仙台市経済局農林部農業振興課 課長	欠席
委 員	常陸 孝一	宮城県農政部 副部長（技術担当）	出席

【幹 事】

役 職	氏 名	所属及び職名
幹 事	關口 道	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
幹 事	佐藤 潤一	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
幹 事	門間 陽一	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
幹 事	滝澤 浩幸	宮城県古川農業試験場 作物育種部長
幹 事	小高 勝範	宮城県古川農業試験場 作物栽培部長

【事務局等】

役 職	氏 名	所属及び職名
助言者	西條 和彦	宮城県古川農業試験場 作物育種部 原種生産チーム 主任研究員
事務局	増田 秀平	宮城県古川農業試験場 作物育種部 品種評価チーム 研究員
事務局	千葉 遼太郎	宮城県古川農業試験場 作物育種部 品種評価チーム 技師
事務局	千田 洋	宮城県古川農業試験場 作物栽培部 大豆・麦チーム 主任研究員
事務局	伊藤 晋	宮城県農政部みやぎ米推進課 技術副参事兼総括課長補佐
事務局	増岡 直史	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主幹（班長）
事務局	佐藤 浩子	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主任主査（副班長）
事務局	佐藤 直紀	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主査（副班長）
事務局	石森 裕貴	宮城県農政部みやぎ米推進課生産販売班 技術主査



みや米第560号

令和7年1月20日

主要農作物品種審査会会長 殿

宮城県知事 村 井 嘉 浩



優良品種の指定等について（諮問）

このことについて、主要農作物種子条例（令和元年宮城県条例第59号）第18条の規定により、貴会の意見を求めます。

記

諮問内容

- 1 水稻優良品種「ヒメノモチ」、「こもちまる」を廃止することについて
- 2 令和7年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について
- 3 大豆優良品種「すずほのか」を廃止することについて
- 4 令和7年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について

担当 農政部みやぎ米推進課

生産販売班 佐藤（直）

TEL：022-211-2841 FAX：022-211-2849

E-mail：miyamai-se@pref.miyagi.lg.jp

水 稻

報 告 事 項

令和 6 年度優良品種決定調査成績

令和6年度優良品種決定調査に供した品種（稲）について

1 優良品種として要望される品種（育種の方向性）

気候変動に対応し、いもち病等の病害虫に強く、高温登熟性・耐冷性・耐倒伏性に優れた以下の特性を有する品種

イ 既存の優良品種を上回る特性を持ち、主力となりうる品種

(イ) 極良質・極良食味で他県の銘柄に対抗する品種

(ロ) 「コシヒカリ」、「つや姫」以降の熟期で、極良質・極良食味の晩生品種

(ハ) 既存の優良品種に、生産者・消費者・実需者等のニーズに適応する望ましい特性を付与した品種

ロ 中食・外食等の業務用ニーズに対応する品種

(イ) 業務用に対応する品質・食味を持ち、収量性に優れた品種

(ロ) チルド加工適性の高い低アミロース品種

(ハ) 大量調理に適した優れた炊飯適性を持つ品種

ハ 新たな需要を創出する品種

(イ) 輸出を前提とした低コスト栽培及び収量性に極めて優れる品種

(ロ) 米粉用、酒造用、健康・機能性市場対応などに実需者からの要望があり、特定需要が見込まれる品種

2 供試品種及び系統

種 類			早 晩 性	基本調査				現地調査
				予備調査		本調査		
				品種・系統名	要望され る品 種	品種・系統名	要望される 品 種	
うるち	早 生	奥羽 451 号 (対)やまのしずく (比)あきたこまち	ロ-(イ)	山形 160 号 (1) (対)やまのしずく (比)あきたこまち	ロ-(イ)	山形 160 号 (1) (対)やまのしずく		
	中 生	岩手 159 号 東北 245 号 東北 246 号 秋田 135 号 山形 165 号 奥羽 454 号 (対)ひとめぼれ (比)げんきまる	ロ-(イ) イ-(ハ) イ-(イ) ロ-(イ) イ-(イ) ロ-(イ)	東北 233 号 (4) 福島 64 号 (3) 東北 241 号 (2) 東北 243 号 (1) 秋田 133 号 (1) (対)ひとめぼれ (比)まなむすめ (比)げんきまる	イ-(イ) イ-(イ) イ-(イ) イ-(ハ) ロ-(イ)	東北 233 号 (4) 福島 64 号 (3) 東北 241 号 (2) 東北 243 号 (1) 秋田 133 号 (1) (対)ひとめぼれ		
	晩 生	山形 158 号 福島 66 号 (対)つや姫 (比)コシヒカリ	イ-(ロ) イ-(ロ)	東北 238 号 (3) 越南 311 号 (1) (対)つや姫 (比)コシヒカリ	イ-(ロ) イ-(ロ)	東北 238 号 (3) 越南 311 号 (1) (対)つや姫		
新 形 質 米	低 ア ミ ロ ー ス	晩 生		東北 239 号 (3) (対)つや姫 (比)だて正夢	イ-(ロ)、 ロ-(ロ)	東北 239 号 (3) (対)つや姫 (比)だて正夢		
計			9		9		9	

注1 (対)は対照品種、(比)は比較品種。

2 本調査及び現地調査の(内)の数字は当該調査への供試年数。

※優良品種決定基準については、参考資料 p2 参照。

※優良品種調査決定方法については、参考資料 p6～p8 参照。

令和6年度優良品種決定調査成績（稲）

1 本調査

（1）うるち種

イ 特性把握につき調査終了とするもの

熟期	系統名	特性及び概評
中生	福島 64 号	・耐冷性かなり強。葉いもち極強。 ・「ひとめぼれ」対照で出穂期が3日遅いやや晩生。収量は標肥でやや優り、多肥でやや優る。外観品質はやや優る。食味は同程度。 判定理由：特性把握につき調査終了。
	東北 241 号	・耐冷性やや強～強。葉いもち強、穂いもちかなり強。 ・「ひとめぼれ」対照で出穂期が2日遅い中生。収量は標肥で同程度、多肥でやや優る。外観品質は同程度。食味は同程度。 判定理由：特性把握につき調査終了。
晩生	東北 238 号	・耐冷性強。葉いもちやや強、穂いもち強。千粒重やや大きい。 ・「つや姫」対照で出穂期が2日遅い晩生。収量は標肥で同程度、多肥で同程度。外観品質は同程度。食味は同程度。 判定理由：特性把握につき調査終了。

ロ 継続検討するもの

熟期	系統名	特性及び概評
早生	山形 160 号	・耐冷性かなり強。葉いもち強、穂いもち極強。 ・「やまのしずく」対照で出穂期が2日遅い晩生。収量は標肥で同程度、多肥で同程度。外観品質は同程度。食味は同程度。 判定理由：年次変動確認のため調査継続。
中生	東北 233 号	・耐冷性強。葉いもちかなり強、穂いもちかなり強。 ・「ひとめぼれ」対照で出穂期が1日遅い中生。収量は標肥でやや優り、多肥で優る。外観品質は同程度。食味は同程度。 判定理由：年次変動確認のため調査継続。

ハ 調査を打ち切るもの

熟期	系統名	特性及び概評
中生	東北 243 号	・耐冷性極強。葉いもちかなり強、穂いもちかなり強。 ・「ひとめぼれ」対照で出穂期が4日遅いやや晩生。収量は標肥で劣る、多肥で劣る。外観品質は同程度。食味は同程度。 判定理由：既存品種と比較し収量が劣るため調査打ち切り。
	秋田 133 号	・耐冷性強。葉いもちやや弱、穂いもちやや強。 ・「ひとめぼれ」対照で出穂期が1日遅い中生。収量は標肥で優る、多肥で優る。外観品質はやや劣る。食味はやや劣る。 判定理由：既存品種と比較し外観品質がやや劣り、食味がやや劣るため調査打ち切り。

（2）新形質米

継続検討するもの

熟期	系統名	特性及び概評
晩生	東北 239 号	・耐冷性かなり強。葉いもちかなり強、穂いもちかなり強。千粒重やや大きい。 ・「つや姫」対照で出穂期が2日遅い晩生。収量は標肥で同程度、多肥で同程度。外観品質は同程度。「だて正夢」比較で食味は同程度。 判定理由：加工適性を調査するため基本調査のみ継続。

2 予備調査

(1) 本調査に供試するもの

熟期	系統名	概評
中生	岩手 159 号	・「ひとめぼれ」対照で出穂期が 1 日早い中生。千粒重が大きく、収量は標肥で優る。外観品質はやや優る。倒伏は見られなかったが、長稈となった。
	奥羽 454 号	・「ひとめぼれ」対照で出穂期が 2 日遅い中生。千粒重が小さいが、収量は標肥で優る。外観品質は優る。白未熟粒比が優る。
	東北 245 号	・「ひとめぼれ」対照で出穂期が 2 日遅い中生。千粒重が小さいが、収量は標肥で優る。外観品質はやや劣る。
	東北 246 号	・「ひとめぼれ」対照で出穂期が 2 日遅い中生。千粒重が小さいが、収量は標肥で優る。外観品質はやや優る。
	山形 165 号	・「ひとめぼれ」対照で出穂期が 2 日遅い中生。収量は標肥で優る。外観品質は優る。整粒粒比が高い。
晩生	福島 66 号	・「つや姫」対照で出穂期が 1 日早い晩生。収量は標肥で優る。外観品質は同程度。
	山形 158 号	・「つや姫」対照で出穂期が 6 日遅い極晩生。千粒重が大きく、収量は標肥で優る。外観品質は優る。整粒粒比が高い。

(2) 調査を打ち切るもの

熟期	系統名	概評
早生	奥羽 451 号	・「やまのしずく」対照で出穂期が 3 日遅い早生。収量は標肥で優る。外観品質は優る。 判定理由：出穂期が遅いため、調査打ち切り。
中生	秋田 135 号	・「ひとめぼれ」対照で出穂期が 2 日遅い中生。千粒重が大きく、収量は標肥で優る。外観品質は劣る。 判定理由：外観品質が劣るため、調査打ち切り。

令和6年度水稻優良品種決定調査（本調査）供試系統の特性概要

区分	系統・品種名	交配組合せ	調査年数 (本調査)	早晩性 (宮城県)	草型	稈長	耐倒伏性	穂発芽性	障害型 耐冷性	いもち病抵抗性		食味	備考
										真性	穂		
早生	山形160号	東北224号 / 山形139号	1	早生	中間	中	中	や難	か強	<i>Pij</i>	強	上上	高温登熟耐性"強"、良食味、多収、 <i>Pi39</i> 、 <i>Pb1</i>
	(対)やまのしずく		-	早生	偏穂数	中	や強	や難	強	<i>Pij</i>	強	上中	
	(比)あきたこまち		-	早生	偏穂数	や長	や弱	や難	中	<i>Pia</i> 、 <i>i</i>	中	上中	高温登熟耐性"中"
	東北233号	東1290 / 福島33号	4	中生	中間	や長	中	難	強	<i>Pij</i>	か強	上中	高温登熟耐性"強"、耐冷"強"、良質、良食味、 <i>Pi39</i>
	福島64号	越南244号 / 郡系955	3	中生	中間	や長	や強	難	か強	<i>Pia</i> 、 <i>i</i>	極強	上中	高温登熟耐性"強"、 <i>Pi39</i>
中生	東北241号	東北214号/東北206号 // 東北220号	2	中生	偏穂数	中	中	中	強～や強	<i>Pia</i> 、 <i>i</i>	強	上中	高温登熟耐性"や強"、良食味、 <i>pi21</i> 、 <i>Pb1</i>
	中 東北243号	17-1466 / 15N-174	1	中生	偏穂数	や長	や弱	難	極強	<i>Pij</i>	か強	上中	カドミウム低吸収性、 <i>pi21</i> 、 <i>Pb1</i> 、ひとめぼれ準同質遺伝子系統
	ち 秋田133号	ゆめおぼこ // Icd-km2/7ゆめおぼこ	1	中生	中間	中	中	中	強	<i>Pia</i> 、 <i>i</i>	や弱	上中	カドミウム低吸収性、ゆめおぼこ準同質遺伝子系統
	(対)ひとめぼれ		-	中生	偏穂数	や長	や弱	難	強	<i>Pij</i>	や弱	上中	高温登熟耐性"中"
	(比)まなむすめ		-	中生	中間	中	や強	難	強～や強	<i>Pij</i>	中	上中	
晩生	(比)げんきまる		-	や晩生	中間	や長	強	難	強～や強	<i>Pia</i> 、 <i>b</i>	(中)	上中	上下
	東北238号	東1542 / 古川耐冷中母111	3	晩生	偏穂重	短	や強	や難	強	<i>Pik-m</i>	や強	上中	耐冷"強"、いもち強、良質、良食味
	晩 越南311号	イクヒカリ / 山形118号	1	晩生	中間	中	や強	や難	や弱	<i>Pita-2</i>	不明	上中	高温登熟耐性"や強"、多収
	生 (対)つや姫		-	晩生	中間	や短	や強	中	や弱	<i>Pil</i> 、 <i>k-m</i>	(強)	上中	高温登熟耐性"や強"
	(比)コシヒカリ		-	晩生	中間	長	弱	難	強	+	弱	上下	高温登熟耐性"中"
低アミロシ米	東北239号	東北225号 / 東北222号	3	晩生	中間	短	中	中	か強	<i>Pij</i>	か強	上中	耐冷"か強"、いもち強、やや低アミロース
	晩 生 (対)つや姫		-	晩生	中間	や短	や強	中	や弱	<i>Pil</i> 、 <i>k-m</i>	(強)	上中	高温登熟耐性"や強"
	米 (比)だて正夢		-	中生	中間	や長	や強	や難	強	<i>Pia</i> 、 <i>b</i>	(中)	上中	やや低アミロース

注1 対照品種：優良品種として普及しており、調査対象品種の比較対照の基準となる品種。比較品種：特定の形質を比較するための品種。

2 諸特性は育成地における評価（ただし、早晩性は古川農試における出穂期）。「や」は「やや」、「か」は「かなり」を略記。

3 いもち病抵抗性の（ ）書きは、いもち病ほ場抵抗性検定の東北地域向け基準品種の追加策定(共同研究)におけるR5暫定評価。

4 備考の*Pi39*、*pi21*、*Pb1*は、いもち病ほ場抵抗性に関係している遺伝子。

令和6年度水稻優良品種決定調査（予備調査）供試系統の特性概要

区分	系統・品種名	交配組合せ	早晩性 (宮城県)	草型	稈長	耐倒伏性	穂発芽性	障害型			品質	食味	備考			
								耐冷性	真性	もち病抵抗性						
早生	奥羽451号	奥羽439号	//	奥羽430号/羽系2176	早生	偏穂数	短	強	中	や強	<i>Pia,i</i>	極強	か強	上中	上中	良質、高温登熟耐性"強"、 <i>Pi39</i> 、 <i>Pb1</i> 、縞R
	(対)やまのしずく				早生	偏穂数	中	や強	や難	強	<i>Pii</i>	強	強	上中	上下	
	(比)あきたこまち				早生	偏穂数	や長	や弱	や難	中	<i>Pia,i</i>	中	や弱	上中	上中	
	岩手159号	岩手121号	/	岩1344	中生	偏穂重	や長	か強	難	極強	<i>Pia,i</i>	極強	極強	上中	上中	
中生	東北245号	東北231号	/	東北224号	中生	偏穂数	や長	や強	や易	強	<i>Pii</i>	か強	か強	上中	上中	耐冷"強"、 <i>Pi35</i> 、 <i>Pi39</i> 、良質良食味
	東北246号	東北231号	/	東北224号	中生	穂数	や長	や強	中	や強	<i>Pii</i>	か強	か強	上中	上中	高温登熟耐性"や強"、 <i>Pi39</i> 、良質良食味
	中秋田135号	つぶぞろい//hcd-km2	/	秋田97号//t6-つぶぞろい	中生	偏穂数	や長	や弱	や難	中	<i>Pia</i>	や強	強	上中	上中	カドミウム低吸収性、つぶぞろいNIL
	山形165号	山形143号	/	庄5471	中生	中間	や短	強	や難	か強	<i>Pii</i>	強	強	上上	上中	良質良食味、多収、 <i>Pb1</i>
晩生	奥羽454号	奥羽442号	/	羽系2216	中生	偏穂数	短	強	や難	か強	<i>Pii</i>	か強	か強	上中	上中	高温登熟耐性"強"、Apq1、耐冷"か強"、 <i>Pi39</i>
	(対)ひとめぼれ				中生	偏穂数	や長	や弱	難	強	<i>Pii</i>	や弱	中	上中	上中	
	(比)げんきまる				や晩生	中間	や長	強	難	強～や強	<i>Pia,b</i>	(中)	(中)	上中	上下	
	山形158号	山形120号	/	東北224号	か晩生	中間	中	強	や難	中	<i>Pii,k-m</i>	強	強	上中	上中	高温登熟耐性"強"、良食味、多収
晩生	福島66号	北陸251号	/	福島39号	晩生	偏穂数	中	強	や難	や強	<i>Pia</i>	強	強	上中	上中	高温登熟耐性"強～や強"、多収、良食味
	(対)つや姫				晩生	中間	や短	や強	中	や弱	<i>Pii,k-m</i>	(強)	(強)	上中	上中	
	(比)コシヒカリ				晩生	中間	長	弱	難	強	+	弱	弱	上下	上中	

注1 対照品種：優良品種として普及しており、調査対象品種の比較対照の基準となる品種。比較品種：特定の形質を比較するための品種。

2 諸特性は育成地における評価（ただし、早晩性は古川農試における出穂期）。「や」は「やや」、「か」は「かなり」を略記。

3 いもち病抵抗性の（ ）書きは、いもち病は場抵抗性検定の東北地域向け基準品種の追加策定(共同研究)におけるR5暫定評価。

4 備考の*Pi35*、*Pi39*、*Pb1*は、いもち病は場抵抗性に関係している遺伝子。Apq1は高温登熟耐性に関係している遺伝子。

令和6年度水稻優良品種決定調査 基本調査の耕種概要

- 1 区 制 本調査 3区制 8.5m²/区 予備調査 2区制 8.5m²/区
※ただし、本調査のひとめぼれは6区。

2 耕種概要

- (1) 播種期 (播種量) 4月12日 (乾籾重140 g /箱)
(2) 育苗法 稚苗、加温出芽、プール育苗
(3) 移植期 5月9日 (本調査)、5月8日 (予備調査) 手植え
(4) 栽植密度 18.5株/m² (30×18cm)、4本/株
(5) 施肥量

		(kg/a)					
		基肥			追肥		
		N	P	K	N	P	K
本調査	標肥区	0.50	0.75	0.58	0.10	-	0.11
	多肥区	0.70	1.05	0.82	0.10	-	0.11
予備調査	標肥区	0.50	0.75	0.58	0.10	-	0.11

※使用資材 基肥 塩化憐安284号
追肥 NK化成C68号 (減数分裂期施用)

3 病虫害、雑草防除

実施時期	資材名	使用量
種子消毒	モミガードC・DF	200倍液、24時間浸漬
播種時	ダコレート水和剤	500倍液、0.5リットル/箱
5/10	ソルネット1キロ粒剤	1kg/10a
5/27	バッチリ1キロ粒剤	1kg/10a
6/28	Mr. ジョーカーEW	2,000倍液、60リットル/10a
7/2	バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	100倍液、70リットル/10a
7/22	コラトップ1キロ粒剤12	1kg/10a
7/31	モンガリット1キロ粒剤	1kg/10a
8/2	スタークルメイト液剤10	1,000倍液、100リットル/10a
8/8	エクシードフロアブル	500倍液、25リットル/10a
8/19	スタークルメイト液剤10	1,000倍液、100リットル/10a

表1 令和6年度水稻優良品種決定基本調査 本調査の調査結果

	調査年数		出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	諸障害				a 当たり収量					外観			穀粒判別器				玄米	食味官能試験						有望度	概評（対照品種との比較）				
	予 備 調 査	本 調 査	(月日)	(月日)	(cm)	(cm)	(本/m ²)	倒伏	発病程度			全重 (kg)	わら重 (kg)	精粗重 (kg)	玄米重 (kg)	屑米重 (kg)	玄米重 対比	精 比	玄米 千粒重 (g)	品質 (1-9)	整粒 粒比 (%)	白未熟 粒比 (%)	死米 粒比 (%)	胴割粒 粒比 (%)	タンパク (乾物%)	外観	香り	評価（-3～+3）				長所	短所			
								成熟期 (0-400)	葉い もち	穂い もち	紋枯 病																	稲こ うじ								
（早生）																																				
山形160号	1	1	標肥	7/24	8/30	83.8	19.3	474	15.0	無	無	少	無	148	62.7	78.6	59.6	4.3	104	125	22.3	5.0	61.2	16.0	1.9	0.4	7.3	+0.5	+0.2	+0.1	+0.3	+0.0	+0.2	△	・収量やや優る。（+2%以上）	なし
			多肥	7/24	8/30	86.6	19.3	500	31.7	無	無	無	微	164	69.3	85.9	64.2	5.8	106	124	22.5	5.0	58.8	16.0	1.2	0.7	7.5									
→ 年次確認のため、継続。																																				
（対）やまのしずく			標肥	7/25	8/31	85.4	19.4	432	0.0	無	無	微	微	150	68.0	76.7	57.4	3.7	（100）	113	21.5	5.3	50.5	16.8	3.7	0.4	7.8	基準	基準	基準	基準	基準	基準			
			多肥	7/24	8/30	89.2	19.1	492	0.0	微	無	無	微	160	70.5	83.5	60.7	5.6	（100）	118	21.6	5.5	48.2	17.9	3.7	0.6	7.9									
（比）あきたこまち			標肥	7/25	8/31	89.8	19.0	463	17.5	無	無	微	微	149	67.3	76.7	58.7	2.9	102	114	21.8	5.7	55.6	16.5	2.3	0.4	7.6	+0.2	+0.1	+0.0	+0.1	+0.0	+0.0			
			多肥	7/24	8/31	93.5	18.9	516	126.7	無	無	無	無	164	76.1	80.4	60.0	3.9	99	106	21.8	5.5	52.3	16.7	1.7	0.5	7.9									
（中生～やや晩生）																																				
東北233号	1	4	標肥	7/29	9/7	87.2	19.6	466	46.3	無	無	少	無	163	72.8	85.7	64.7	3.2	111	118	22.7	4.0	71.9	7.5	0.7	0.4	7.0	+0.1	-0.1	-0.2	-0.2	+0.2	-0.2	◎	・収量優る。（+6%以上）	なし
			多肥	7/29	9/9	91.9	19.6	508	74.7	無	無	無	少	177	81.9	89.3	67.4	4.0	114	109	22.6	3.8	69.1	7.6	0.6	0.2	7.5									
→ 累年調査成績を検討。																																				
福島64号	1	3	標肥	7/31	9/6	90.9	19.8	519	48.3	無	無	無	無	161	77.2	77.8	59.1	2.5	102	101	23.3	3.5	75.7	3.6	0.5	0.4	7.1	+0.4	-0.1	-0.1	-0.2	±0.0	±0.0	◎	・収量やや優る。（+2%以上） ・外観品質やや優る。（-0.5以上）	なし
			多肥	8/1	9/9	98.5	19.7	535	191.7	無	無	無	無	181	90.2	82.3	63.7	3.5	107	91	22.9	3.3	72.8	4.4	0.8	0.1	7.7									
→ 累年調査成績を検討。																																				
東北241号	1	2	標肥	7/31	9/7	84.0	19.5	510	13.3	無	無	微	無	158	76.3	75.8	58.3	3.5	100	99	21.9	3.8	65.1	8.4	1.1	0.8	6.6	+0.1	-0.1	-0.1	-0.0	-0.2	-0.1	○	・外観品質やや優る。（-0.5以上）	なし
			多肥	7/31	9/9	89.2	20.2	560	36.7	無	無	無	微	174	86.8	81.9	61.2	3.7	103	94	22.0	3.8	66.2	7.1	1.8	0.4	7.4									
→ 累年調査成績を検討。																																				
東北243号	1	1	標肥	8/2	9/7	91.6	20.8	525	10.0	少	無	微	少	157	80.0	70.1	53.8	2.1	93	88	23.0	4.8	63.1	12.0	1.2	0.4	7.1	+0.2	-0.1	-0.2	-0.0	-0.2	-0.3	×	・Cd低吸収性。	・収量劣る。（-6%以上）
			多肥	8/2	9/8	96.3	20.9	553	78.3	無	無	微	無	169	88.8	70.7	54.6	2.4	92	80	22.6	4.7	62.4	10.0	1.3	0.1	7.8									
→ 収量が劣るため打ち切り。																																				
秋田133号	1	1	標肥	7/29	9/10	87.1	20.6	442	1.7	微	無	無	微	164	78.4	81.9	63.6	1.6	109	104	23.8	5.5	58.2	18.1	3.3	0.2	6.7	-0.3	-0.2	-0.4	-0.4	-0.2	-0.5	×	・収量優る。（+6%以上） ・千粒重やや大きい。 ・Cd低吸収性。	・外観品質やや劣る。（+0.6以上） ・食味やや劣る。（-0.5以上）
			多肥	7/30	9/12	93.4	20.6	479	26.7	無	無	無	無	177	82.9	85.4	65.3	2.4	110	103	23.6	5.3	59.7	18.4	3.0	0.1	7.3									
→ 外観品質、食味がやや劣るため打ち切り。																																				
（対）ひとめぼれ			標肥	7/28	9/6	88.9	19.3	525	90.0	無	無	少	無	153	71.5	75.9	58.2	2.2	（100）	106	22.8	4.3	67.9	10.0	1.6	0.4	7.3	基準	基準	基準	基準	基準	基準			
			多肥	7/29	9/7	94.7	19.4	572	149.2	無	無	無	微	169	80.1	77.1	59.3	2.6	（100）	96	22.5	4.6	66.2	10.0	1.4	0.1	7.9									
（比）まなむすめ			標肥	7/28	9/5	84.9	19.5	442	5.7	無	無	微	微	157	71.9	80.6	62.3	2.4	107	112	24.4	4.7	70.1	12.1	3.4	0.4	7.4	-0.0	-0.1	-0.5	-0.2	-0.0	-0.5			
			多肥	7/28	9/7	90.5	20.0	475	17.3	微	無	微	無	173	79.2	85.1	65.7	3.1	111	107	24.1	4.8	67.8	12.2	3.3	0.1	7.8									
（比）げんきまる			標肥	7/31	9/12	89.5	20.6	353	2.3	無	無	無	無	173	78.9	86.9	68.3	1.8	117	110	23.9	4.3	69.3	9.3	0.8	1.1	6.9	-0.2	-0.2	-0.5	-0.6	-0.3	-0.6			
			多肥	8/1	9/12	96.5	20.7	422	51.7	無	無	無	微	183	85.0	88.8	69.0	2.6	116	104	23.6	4.2	67.9	8.6	0.9	0.9	7.3									
（晩生）																																				
東北238号	1	3	標肥	8/7	9/16	89.1	19.4	437	25.0	少	無	微	少	183	89.4	85.8	66.7	2.4	105	96	23.8	4.5	70.5	4.1	0.2	0.4	6.4	+0.2	-0.0	-0.1	+0.1	-0.1	-0.1	○	・収量やや優る。（+2%以上） ・千粒重やや大きい。	なし
			多肥	8/7	9/16	94.1	18.8	474	150.0	無	無	無	少	196	99.5	87.1	66.5	3.5	101	88	23.4	4.3	69.3	4.9	0.2	0.3	6.7									
→ 累年調査成績を検討。																																				
越南311号	1	1	標肥	8/6	9/17	91.0	19.1	363	15.0	無	無	少	少	170	81.9	81.8	61.7	3.2	97	100	22.3	4.5	69.0	9.9	0.7	0.0	7.0	-0.1	-0.2	-0.3	-0.1	-0.4	-0.3	×	なし	・収量やや劣る。（-2%以上）
			多肥	8/6	9/17	93.8	18.7	421	75.0	無	無	微	無	183	92.9	84.1	62.1	4.5	95	91	21.9	4.3	66.3	10.1	0.8	0.0	7.5									
→ 収量やや劣り、長所がないため打ち切り。																																				
（対）つや姫			標肥	8/5	9/15	87.3	17.5	459	5.0	微	無	微	少	172	84.2	81.7	63.5	2.6	（100）	97	22.0	4.2	66.6	7.1	0.2	0.1	7.2	基準	基準	基準	基準	基準	基準			
			多肥	8/5	9/16	90.2	17.6	502	96.7	無	無	無	少	189	92.0	85.7	65.7	3.6	（100）	93	21.7	4.7	62.8	7.8	0.2	0.1	7.6									
（比）コシヒカリ			標肥	8/6	9/12	105.3	18.6	467	217.3	少	無	無	無	174	89.7	75.7	55.5	4.6	87	84	21.5	5.0	59.0	12.0	0.4	0.1	7.2	-0.0	-0.1	-0.3	-0.1	-0.0	-0.4			
			多肥	8/6	9/12	110.6	19.0	484	286.7	微	無	無	少	173	95.5	68.4	47.1	6.2	72	72	21.1	4.8	47.6	9.5	0.3	0.1	7.9									
（低アミロース）																																				
東北239号	1	3	標肥	8/9	9/19	87.4	19.4	455	0.0	無	無	無	少	178	87.7	83.3	66.0	1.6	104	95	24.4	4.5	-	-	-	-	6.7	+0.5	+0.1	+0.0	+0.1	-0.1	+0.1	○	・出穂期、成熟期ともに遅い。 ・収量やや優る。（+2%以上） ・千粒重やや大きい。	なし
			多肥	8/9	9/19	92.2	20.0	484	101.7	無	無	無	少	200	103.6	87.9	68.7	1.8	105	85	23.8	3.5	-	-	-	-	7.0									
→ 累年調査成績を検討。																																				
（対）つや姫（再掲）			標肥	8/5	9/15	87.3	17.5	459	5.0	微	無	微	少	172	84.2	81.7	63.5	2.6	（100）	97	22.0	4.2	66.6	7.1	0.2	0.1	7.2	+1.3	+0.3	-0.1	-0.9	-0.3	+0.0			
			多肥	8/5	9/16	90.2	17.6	502	96.7	無	無	無	少	189	92.0	85.7	65.7	3.6	（100）	93	21.7	4.7	62.8	7.8	0.2	0.1	7.6									
（比）だて正夢			標肥	8/1	9/12	91.0	20.6	420	0.0	無	無	無	無	167	78.5	80.6	63.9	1.9	101	103	20.6	3.8	-	-	-	-	7.1	基準	基準	基準	基準	基準	基準			
			多肥	8/2	9/12	96.8	20.8	436	1.7	微	無	無	無	178	84.8	76.7	60.8	2.1	93	91	19.9	3.5	-	-	-	-	7.4									

表2 令和6年度水稻優良品種決定現地調査 調査結果（生育ステージ、収量、品質）

区分	供試系統	項目	山間高冷	西部丘陵		北部平坦		南部平坦	三陸沿岸	仙台湾沿岸		
			七ヶ宿	仙台芋沢	小野田	高清水	中田	角田	気仙沼	亘理	矢本	
うるち	早生	山形160号	出穂、成熟期	8/2 、 9/9		7/26、 8/27						
			収量(kg/a)	68.8		53.6						
			〔収量対比(%)〕	〔100〕		〔116〕						
			品質	2.5		2.0						
	(対)やまのしず	出穂、成熟期	8/1 、 9/9		7/25、 8/27							
			収量(kg/a)	69.1		46.1						
			品質	3.0		2.5						
	中生	東北233号	出穂、成熟期					7/28、 9/4		7/28、 9/5		
			収量(kg/a)					56.5		48.8		
			〔収量対比(%)〕					〔108〕		〔93〕		
			品質					3.3		3.5		
		福島64号	出穂、成熟期		7/26、 9/4		8/6 、 9/12	7/30、 9/5	8/3 、 9/8	7/30、 9/5		
			収量(kg/a)		52.8		66.3	51.6	62.1	42.8		
〔収量対比(%)〕				〔102〕		〔111〕	〔98〕	〔99〕	〔81〕			
品質				3.0		2.5	2.8	2.5	2.3			
東北241号		出穂、成熟期		7/26、 9/4	8/3 、 9/5	7/30、 9/4	8/5 、 9/12	7/29、 9/5	8/3 、 9/7	7/30、 9/5	7/31、 9/10	
		収量(kg/a)		56.8	43.8	47.6	62.3	47.9	60.8	48.6	61.3	
	〔収量対比(%)〕		〔109〕	〔101〕	〔101〕	〔104〕	〔91〕	〔97〕	〔92〕	〔97〕		
	品質		3.0	3.0	2.5	3.0	3.3	3.0	3.0	3.0		
東北243号	出穂、成熟期			8/4 、 9/7	8/1 、 9/1	8/8 、 9/13		8/4 、 9/8				
	収量(kg/a)			44.7	43.1	54.7		55.4				
	〔収量対比(%)〕			〔103〕	〔91〕	〔91〕		〔88.4〕				
	品質			3.8	3.5	3.5		3.5				
秋田133号	出穂、成熟期				7/30、 9/7					7/31、 9/9		
	収量(kg/a)				44.9					68.8		
	〔収量対比(%)〕				〔95〕					〔109〕		
	品質				3.3					3.3		
(対)ひとめぼれ	出穂、成熟期		7/24、 9/2	8/1 、 9/2	7/27、 9/3	8/2 、 9/10	7/28、 9/4	8/1 、 9/5	7/28、 9/5	7/29、 9/5		
	収量(kg/a)		52.0	43.4	47.2	60.0	52.4	62.7	52.7	63.2		
	品質		3.5	2.8	2.8	3.3	3.5	3.0	3.5	3.0		
晩生	東北238号	出穂、成熟期			8/6 、 9/12				8/7 、 9/12			
		収量(kg/a)			53.8				46.4			
	〔収量対比(%)〕			〔105〕				〔96〕				
	品質			2.8				3.0				
越南311号	出穂、成熟期					8/4 、 9/13		8/6 、 9/13				
	収量(kg/a)					53.2		51.1				
	〔収量対比(%)〕					〔115〕		〔106〕				
品質						2.3		2.3				
(対)つや姫	出穂、成熟期		7/31、 9/13		8/3 、 9/9		8/3 、 9/12		8/5 、 9/11	8/11、 9/13		
	収量(kg/a)		52.2		51.3		46.1		48.5	65.2		
	品質		3.0		3.0		3.3		3.0	2.5		
新形質	東北239号	出穂、成熟期		8/6 、 9/13						8/15、 9/17		
		収量(kg/a)		54.3						71.7		
	〔収量対比(%)〕		〔104〕						〔110〕			
	品質		2.0						3.0			
(対)つや姫	出穂、成熟期		7/31、 9/13		8/3 、 9/9		8/3 、 9/12		8/5 、 9/11	8/11、 9/13		
	収量(kg/a)		52.2		51.3		46.1		48.5	65.2		
	品質		3.0		3.0		3.3		3.0	2.5		
(比)だて正夢	出穂、成熟期		7/27、 9/6							8/2 、 9/11		
	収量(kg/a)		50.5							66.8		
	品質		2.5							3.0		

注1 (対)は対照品種、(比)は比較品種。
2 収量対比は対照品種との比較。
3 品質は、上上～下下を1～9で示した。

表3 令和6年度水稻優良品種決定現地調査 調査結果（有望度、概評）

区分		供試系統	対照品種	試験地	評価	概 評（担当普及センターの評価を要約。）
うるち	早生	山形160号	やまのしずく	七ヶ宿	△	倒伏はなく、穂数は同程度からやや多い。収量は同程度、外観品質はやや優る。
				小野田	○	収量性、外観品質が優る。
	中生	東北233号	ひとめぼれ	角田	○	倒伏は少なく、収量は優り、外観品質は同程度。
				亘理	×	生育量は同程度だが倒伏が見られ、穂いもち病及紋枯れ病が散見。収量対比92%、品質もやや劣る。
		福島64号	ひとめぼれ	仙台芋沢	○	収量は同程度、外観品質はやや優れ、乳白粒の発生は少なかった。
				中田	○	稈長が長く、若干の倒伏は発生したが、収量が多く、白未熟粒の発生は少なかった。
				角田	○	倒伏は少なく、収量は同程度。やや大粒で、品質は優る。
				気仙沼	×	収量は同程度。外観品質は優る。稈長が長く、倒伏が見られた。
				亘理	×	稈長は同程度。収量は劣る。外観品質は同程度。
		東北241号	ひとめぼれ	仙台芋沢	△	収量は優れるが、整粒粒比が劣る。乳白粒、その他未熟粒は同程度。
				小野田	△	収量は同程度。外観品質はやや劣る。
				高清水	○	穂数が多く、収量は同程度。外観品質は優る。
				中田	△	収量はやや優る。品質は同程度。
				角田	×	収量が劣り、高温耐性も判然としなかった。
				気仙沼	△	収量はやや劣る。外観品質は同程度。
				亘理	△	稈長は短い。収量はやや劣り、外観品質は同程度。
				矢本	△	収量は同程度。稈長がやや長く、穂数は同程度。白未熟粒が少なく、品質は優る。
		東北243号	ひとめぼれ	小野田	△	収量がやや優れ、外観品質は劣る。稈長が長い。
				高清水	△	穂数が多かったが、収量、外観品質は劣る。
				中田	×	収量は劣る。その他未熟粒が多く、外観品質も劣る。
				気仙沼	×	出穂期、成熟期がともに3日遅い。収量、外観品質は劣る。
		秋田133号	ひとめぼれ	高清水	△	穂数、収量、外観品質が劣った。
				矢本	○	出穂期は2日、成熟期は4日遅い。稈長がやや長く、穂数は同程度。収量は優れ、倒伏はなく、外観品質は同程度。
	晩生	東北238号	つや姫	高清水	△	穂数は少なかったが、千粒重、収量、外観品質は優る。移植時に苗がやや徒長気味だった。
				亘理	△	稈長は同程度。千粒重は同程度で収量はやや優る。外観品質は同程度。次年度も同等の結果を得られるのか継続検討が必要。
		越南311号	つや姫	角田	○	やや長稈だが倒伏は見られず、収量が優り、外観品質は優る。
				亘理	△	稈長は同程度。収量はやや優る。外観品質は同程度。外観品質、収量性について、次年度も同等の結果を得られるのか継続検討が必要。
新形質	晩生	東北239号	つや姫	仙台芋沢	○	収量が優れ、整粒粒比が高く、外観品質が優る。出穂期は遅いが、登熟が早い。胴割れが見られなかった。
				矢本	◎	千粒重が重く多収。だて正夢より青米が少なく、外観品質が優る。

注 評価の凡例 ◎：有望 ○：有望 △：継続調査 ×：調査打ち切り

水稻優良品種決定基本調査の累年調査結果

表4 「東北233号」優良品種決定調査基本調査成績（令和元年～令和4年、令和6年）

栽培 条件	系統・品種名	出穂期		成熟期		稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	諸障害					a 当たり収量					玄米重 対比 (%)	粗わら 比 (%)	玄米 千粒重 (g)	外観 品質	穀粒判別器				玄米 タンパク (乾物%)	食味官能試験						有望度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		(月日)		(月日)					(cm)		(cm)		(本/m ²)	倒伏		発病程度							全重 (kg)	わら重 (kg)	精粗重 (kg)	玄米重 (kg)		屑米重 (kg)	整粒 粒比 (%)	白未熟 粒比 (%)	死米 粒比 (%)	胴割粒 粒比 (%)	評価 (-3~+3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
														成熟期 (0-400)	葉い	穂い	紋枯	稲こ うじ															重		重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重	重

- 注1 標肥区の初年度目は予備調査の成績、その他は本調査の成績。
- 2 栽植密度はR5までは22.2株/m²。R6以降は18.5株/m²。
- 3 倒伏は倒伏程度（0：無倒伏～4：完全倒伏）別の面積比率により、0～400で示した。
- 4 発病程度は、発生予察事業の調査実施基準に準じた。ただし、「少」に達しない発病については「微」とした。
- 5 玄米は篩目1.8mmで調製し、水分15％に換算した。
- 6 外観品質は、上上～下下を1～9で示した。
- 7 整粒粒比、白未熟粒比（乳白粒比、基部未熟粒比、背腹白未熟粒比の合計）、死米粒比及び胴割粒粒比は、R元からR3はS社製穀粒判別器（RGQI10A）、R4以降はS社製穀粒判別器（RGQI100B）で測定した。
- 8 玄米タンパク質含有率は、R元、R2はN社製近赤外食味品質分析計（Model 6500）、R3以降はF社製近赤外成分測定装置（インフラテックNOVA）で測定した。
- 9 食味は、不良～良を-3～+3で評価した結果を対照品種との差で表した。パネラーは古川農業試験場職員。
- 10 有望度の凡例 ◎：有望、○：やや有望、△：継続検討、×：試験打ち切り

表5 「福島64号」優良品種決定調査基本調査成績（令和3年～令和6年）

栽培 系統・品種名 条件	出穂期		成熟期		稈長	穂長	穂数	諸障害					a 当たり収量					玄米重	粳わら	玄米	外観	穀粒判別器				玄米	食味官能試験						有望度	
	(月日)		(月日)		(cm)	(cm)	(本/㎡)	倒伏	発病程度				全重 (kg)	わら重 (kg)	精粒重 (kg)	玄米重 (kg)	屑米重 (kg)	対比 (%)	比 (%)	千粒重 (g)	品質	整粒 粒比 (%)	白未熟 粒比 (%)	死米 粒比 (%)	胴割粒 粒比 (%)	タンパク (乾物%)	評価 (-3~+3)							
								成熟期	葉い	穂い	紋枯	稻こ															外観	香り	味	粘り	硬さ	総合		
								(0-400)	もち	もち	病	うじ																						
		対差		対差																														
標肥 福島64号	R3	8/3	+1	9/20	+3	86.5	18.2	459	0	無	無	無		159	81.4	74.5	57.7	1.6	100	92	23.4	3.8	86.6	2.9	0.2	0.1	6.8						△	
	R4	8/9	+5	9/19	+4	95.2	18.7	502	27	無	無	少	少	173	88.9	77.8	59.7	2.8	112	87	23.6	3.3	72.8	3.3	0.5	0.3	6.5			-0.5	-0.0		-0.3	△
	R5	8/3	+3	9/6	+1	85.8	19.2	426	43	微	無	少	少	166	85.2	74.2	58.0	1.0	98	87	22.9	3.5	69.5	6.6	0.8	0.1	6.6	+0.7	+0.1	-0.1	+0.3	-0.3	-0.1	○
	R6	7/31	+3	9/6	+0	90.9	19.8	519	48	無	無	無	無	161	77.2	77.8	59.1	2.5	102	101	23.3	3.5	75.7	3.6	0.5	0.4	7.1	+0.4	-0.1	-0.1	-0.2	±0.0	±0.0	◎
	平均	8/4	+3	9/13	+2	89.6	19.0	476	30					165		76.0	58.6	2.0	103	92	23.3	3.5	76.2	4.1	0.5	0.3	6.7	+0.6	-0.0	-0.2	+0.0	-0.2	-0.1	
ひとめぼれ	R3	8/2		9/17		83.1	18.5	484	0	少	無	無		150	73.5	73.7	57.7	1.5	(100)	100	22.6	3.3	77.8	5.4	0.6	0.2	6.7							
	R4	8/4		9/15		88.3	19.3	534	8	無	微	少	少	154	75.4	69.7	53.2	2.8	(100)	92	22.5	4.3	67.3	6.8	1.5	0.1	6.6			基準	基準		基準	
	R5	7/31		9/5		82.9	18.8	482	107	微	微	少	微	154	72.5	74.9	59.0	1.2	(100)	103	22.4	4.9	48.5	22.3	4.5	0.1	6.7	基準	基準	基準	基準	基準	基準	
	R6	7/28		9/6		88.9	19.3	525	90	無	無	少	無	153	71.5	75.9	58.2	2.2	(100)	106	22.8	4.3	67.9	10.0	1.6	0.4	7.3	基準	基準	基準	基準	基準	基準	
	平均	8/1		9/11		85.8	19.0	506	51					153	73.2	73.6	57.0	1.9	(100)	101	22.6	4.2	65.4	11.1	2.1	0.2	6.8	基準	基準	基準	基準	基準	基準	
げんきまる	R3																																	
	R4	8/8	+4	9/22	+7	88.2	20.5	362	2	無	微	少	少	164	79.4	78.9	62.1	1.8	117	99	24.2	4.0	72.6	3.9	1.1	1.9	6.4			-0.5	-1.0		-0.7	
	R5	8/3	+3	9/10	+5	83.3	20.4	350	0	無	無	少	少	166	80.7	76.0	60.7	0.5	103	94	23.7	3.8	51.8	21.2	0.8	0.2	6.4	+0.6	-0.1	-0.6	-0.5	-0.4	-0.6	
	R6	7/31	+3	9/12	+6	89.5	20.6	353	2	無	無	無	無	173	78.9	86.9	68.3	1.8	117	110	23.9	4.3	69.3	9.3	0.8	1.1	6.9	-0.2	-0.2	-0.5	-0.6	-0.3	-0.6	
	平均	8/4	+3	9/15	+6	87.0	20.5	355	1					168	79.7	80.6	63.7	1.4	112	101	24.0	4.1	64.6	11.4	0.9	1.0	6.5	+0.2	-0.1	-0.5	-0.7	-0.3	-0.6	
多肥 福島64号	R4	8/8	+5	9/17	+3	93.9	18.1	535	43	無	微	少	少	167	85.5	74.4	56.9	3.0	104	87	23.3	4.0	73.5	3.2	0.6	0.4	6.2							
	R5	8/2	+2	9/8	+2	89.8	18.7	514	63	無	無	少	少	178	90.4	78.1	60.4	1.8	102	86	22.7	3.5	69.2	8.4	0.9	0.1	7.0							
	R6	8/1	+3	9/9	+2	98.5	19.7	535	192	無	無	無	無	181	90.2	82.3	63.7	3.5	107	91	22.9	3.3	72.8	4.4	0.8	0.1	7.7							
	平均	8/4	+3	9/12	+2	94.1	18.8	528	99					175	88.7	78.3	60.3	2.8	104	88	23.0	3.6	71.8	5.3	0.8	0.2	7.0							
ひとめぼれ	R4	8/3		9/14		89.6	18.9	550	40	微	微	少	少	160	79.1	71.5	54.7	3.0	(100)	90	22.4	4.3	67.0	7.0	1.5	0.1	6.4							
	R5	7/31		9/6		87.5	18.6	531	162	少	微	少	少	166	79.5	77.3	59.3	2.3	(100)	97	21.8	4.8	53.0	17.7	5.5	0.1	7.3							
	R6	7/29		9/7		94.7	19.4	572	149	無	無	無	微	169	80.1	77.1	59.3	2.6	(100)	96	22.5	4.6	66.2	10.0	1.4	0.1	7.9							
	平均	7/31		9/9		90.6	18.9	551	117					165	79.6	75.3	57.7	2.6	(100)	95	22.2	4.6	62.1	11.6	2.8	0.1	7.2							
げんきまる	R4																																	
	R5	8/3	+3	9/9	+3	89.4	20.3	396	0	微	無	少	中	185	89.8	79.8	63.1	1.2	106	89	23.2	4.0	53.0	19.9	1.1	0.6	6.8							
	R6	8/1	+3	9/12	+4	96.5	20.7	422	52	無	無	無	微	183	85.0	88.8	69.0	2.6	116	104	23.6	4.2	67.9	8.6	0.9	0.9	7.3							
	平均	8/2	+3	9/11	+4	93.0	20.5	409	26					184	87.4	84.3	66.1	1.9	111	97	23.4	4.1	60.4	14.2	1.0	0.8	7.0							

注 脚注は1 同様。

表 6 「東北241号」優良品種決定調査基本調査成績（令和4年～令和6年）

栽培 条件	系統・品種名	出穂期		成熟期		稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	諸障害					a 当たり収量					玄米重 対比 (%)	ねむら 比 (%)	玄米 千粒重 (g)	外観 品質	穀粒判別器				玄米 タンパク (乾物%)	食味官能試験						有望度		
		倒伏		発病程度					全重 (kg)	わら重 (kg)	精粗重 (kg)	玄米重 (kg)	屑米重 (kg)	整粒 粒比 (%)	白未熟 粒比 (%)	死米 粒比 (%)	胴割粒 粒比 (%)	評価 (-3～+3)																		
		(月日)	(月日)	(cm)	(cm)	(本/㎡)	成熟期 (0-400)	葉い もち										穂い もち	紋枯 病	稲こ うじ	外観	香り	味	粘り	硬さ	総合										
		対差	対差																																	
標肥	東北241号	R4	8/5	+3	9/16	+3	86.5	19.5	514	0	無	無	無	157	78.9	70.8	53.0	4.3	96	90	22.0	3.5	64.4	4.7	0.3	0.4	6.4							△		
		R5	8/2	+2	9/7	+2	80.4	19.2	463	17	無	無	少	163	81.1	73.5	58.6	0.8	99	91	22.0	4.3	51.8	17.9	2.5	0.2	6.2	+0.4	±0.0	-0.0	-0.3	+0.0	-0.1	○～△		
		R6	7/31	+2	9/7	+1	84.0	19.5	510	13	無	無	微	158	76.3	75.8	58.3	3.5	100	99	21.9	3.8	65.1	8.4	1.1	0.8	6.6	+0.1	-0.1	-0.1	-0.0	-0.2	-0.1	○		
		平均	8/2	+2	9/10	+2	83.6	19.4	496	10						159	78.8	73.4	56.6	2.9	99	93	22.0	3.9	60.4	10.3	1.3	0.5	6.4	+0.2	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	
	ひとめぼれ	R4	8/2		9/13		90.0	19.2	514	0	無	無	無	154	75.3	70.6	55.0	2.6	(100)		22.5	3.0	66.9	6.8	0.6	0.1	6.7									
		R5	7/31		9/5		82.9	18.8	482	107	微	微	少	154	72.5	74.9	59.0	1.2	(100)	103	22.4	4.9	48.5	22.3	4.5	0.1	6.7	基準	基準	基準	基準	基準	基準			
		R6	7/28		9/6		88.9	19.3	525	90	無	無	少	153	71.5	75.9	58.2	2.2	(100)	106	22.8	4.3	67.9	10.0	1.6	0.4	7.3	基準	基準	基準	基準	基準	基準			
		平均	7/31		9/8		87.3	19.1	507	66						154	73.1	73.8	57.4	2.0	(100)	105	22.6	4.1	61.1	13.0	2.2	0.2	6.9	基準	基準	基準	基準	基準	基準	
多肥	東北241号	R5	8/1	+1	9/8	+2	85.5	19.6	491	47	無	微	少	175	84.7	78.0	60.0	2.4	101	92	21.3	4.5	54.2	16.3	2.7	0.2	6.8									
		R6	7/31	+3	9/9	+1	89.2	20.2	560	37	無	無	無	174	86.8	81.9	61.2	3.7	103	94	22.0	3.8	66.2	7.1	1.8	0.4	7.4									
		平均	8/1	+2	9/9	+2	87.4	19.9	526	42						174	85.8	79.9	60.6	3.0	102	93	21.6	4.2	60.2	11.7	2.3	0.3	7.1							
	ひとめぼれ	R5	7/31		9/6		87.5	18.6	531	162	少	微	少	166	79.5	77.3	59.3	2.3	(100)	97	21.8	4.8	53.0	17.7	5.5	0.1	7.3									
R6		7/29		9/7		94.7	19.4	572	149	無	無	無	169	80.1	77.1	59.3	2.6	(100)	96	22.5	4.6	66.2	10.0	1.4	0.1	7.9										
		平均	7/30		9/7		91.1	19.0	551	155						167	79.8	77.2	59.3	2.5	(100)	97	22.1	4.7	59.6	13.9	3.5	0.1	7.6							

注 脚注は1 同様。

表 7 「東北238号」優良品種決定調査基本調査成績（令和3年～令和6年）

栽培 条件	系統・品種名	出穂期		成熟期		稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	諸障害					a 当たり収量					玄米重	初わら	玄米	外観 品質	穀粒判別器				玄米	食味官能試験						有望度	
		倒伏		発病程度					全重 (kg)	わら重 (kg)	精粗重 (kg)	玄米重 (kg)	屑米重 (kg)	対比 (%)	比 (%)	千粒重 (g)	整粒 粒比 (%)	白未熟 粒比 (%)	死米 粒比 (%)	胴割粒 粒比 (%)	タンパク (乾物%)		評価 (-3~+3)												
		(月日)	(月日)	(cm)	(cm)	(本/㎡)	成熟期 (0-400)	葉い もち														穂い もち	紋枯 病	稲こ うじ	外観	香り	味	粘り	硬さ	総合					
		対差	対差																																
標肥	東北238号	R3	8/11	+2	10/1	+6	78.2	18.5	434	0	無	無	無		174	106.0	60.3	46.9	1.7	90	57	24.6	3.3	82.3	0.5	0.0	6.6	6.7						△	
		R4	8/16	+3	9/30	+3	86.2	19.3	427	37	無	無	少	多	179	92.5	80.2	62.2	3.0	104	87	23.8	3.8	69.7	4.8	0.9	0.4	5.8			-0.3	+0.1		-0.2	△
		R5	8/10	+2	9/14	+1	85.5	18.5	389	0	無	無	少	多	179	89.9	79.2	62.8	0.7	99	88	23.3	4.2	56.7	17.6	0.3	0.3	6.1	+0.4	±0.0	±0.0	+0.3	-0.6	-0.1	△
		R6	8/7	+3	9/16	+1	89.1	19.4	437	25	少	無	微	少	183	89.4	85.8	66.7	2.4	105	96	23.8	4.5	70.5	4.1	0.2	0.4	6.4	+0.2	-0.0	-0.1	+0.1	-0.1	-0.1	○
		平均	8/11	+2	9/23	+3	84.8	18.9	422	15					179	94.4	76.4	59.7	2.0	100	82	23.9	4.0	69.8	6.7	0.4	1.9	6.3	+0.4	±0.0	-0.2	+0.2	-0.6	-0.2	
	つや姫	R3	8/9		9/25		78.9	17.0	447	0	微	無	無		158	84.8	68.1	52.0	3.0	(100)	80	22.6	3.5	76.8	0.3	0.0	1.6	6.8							
		R4	8/13		9/27		84.8	17.7	461	0	無	無	少	中	167	84.8	76.3	59.8	2.4	(100)	90	22.1	3.5	68.0	2.8	0.3	0.5	6.4			基準	基準		基準	
		R5	8/8		9/13		81.3	18.3	421	0	無	無	少	中	166	82.5	79.9	63.4	0.7	(100)	97	21.8	3.2	57.8	12.4	0.2	0.2	6.6	基準	基準	基準	基準	基準	基準	基準
		R6	8/5		9/15		87.3	17.5	459	5	微	無	微	少	172	84.2	81.7	63.5	2.6	(100)	97	22.0	4.2	66.6	7.1	0.2	0.1	7.2	基準	基準	基準	基準	基準	基準	基準
		平均	8/9		9/20		83.1	17.6	447	1					166	84.1	76.5	59.7	2.2	(100)	91	22.1	3.6	67.3	5.6	0.2	0.6	6.8	基準	基準	基準	基準	基準	基準	基準
多肥	東北238号	R4	8/16	+3	10/1	+4	86.2	18.9	440	177	無	無	少	多	179	91.8	79.1	61.4	3.1	101	86	23.9	3.7	64.0	5.1	0.7	0.5	5.6							
		R5	8/10	+2	9/15	+1	87.7	18.3	438	33	無	無	少	甚	192	98.0	83.7	65.7	1.4	100	85	22.7	4.2	56.8	17.3	0.6	0.4	6.4							
		R6	8/7	+3	9/16	±0	94.1	18.8	474	150	無	無	無	少	196	99.5	87.1	66.5	3.5	101	88	23.4	4.3	69.3	4.9	0.2	0.3	6.7							
		平均	8/11	+3	9/21	+2	89.3	18.7	451	120					189	96.4	83.3	64.5	2.7	101	86	23.3	4.1	63.4	9.1	0.5	0.4	6.2							
	つや姫	R4	8/13		9/27		85.7	17.7	471	18	無	無	少	中	172	89.1	77.7	60.9	2.7	(100)	87	22.0	3.7	68.7	2.5	0.1	0.6	6.2							
		R5	8/8		9/14		85.1	18.1	482	10	無	微	少	多	177	87.5	84.3	66.0	1.5	(100)	96	21.2	3.7	56.0	12.2	0.3	0.3	6.9							
		R6	8/5		9/16		90.2	17.6	502	97	無	無	無	少	189	92.0	85.7	65.7	3.6	(100)	93	21.7	4.7	62.8	7.8	0.2	0.1	7.6							
		平均	8/9		9/19		87.0	17.8	485	42					179	89.5	82.6	64.2	2.6	(100)	92	21.7	4.0	62.5	7.5	0.2	0.3	6.9							

注 脚注は1 同様。

表 8 「東北239号」優良品種決定調査基本調査成績（令和3年～令和6年）

栽培 系統・品種名 条件	出穂期			成熟期			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	諸障害				a 当たり収量					玄米重 (%)	籾わら (%)	玄米 (g)	外観 品質	穀粒判別器				玄米 タンパク (乾物%)	食味官能試験						有望度
	(月日)		(月日)		(cm)					(cm)		(本/㎡)		倒伏		発病程度		全重 (kg)					わら重 (kg)	精粒重 (kg)	玄米重 (kg)	屑米重 (kg)		対比 (%)	比 (%)	千粒重 (g)	整粒 粒比 (%)	白未熟 粒比 (%)	死米 粒比 (%)	
							成熟期 (0-400)	葉い もち	穂い もち					紋枯 病	稲こ うじ	外観	香り		味	粘り	硬さ	総合												
標肥 東北239号	R3	8/9	±0	9/25	±0	81.1	18.4	428	0	無	無	無	162	90.2	66.8	52.6	0.8	101	74	25.3	3.5					6.6							△	
	R4	8/16	+3	10/1	+4	87.8	18.9	424	0	無	無	少	173	92.6	73.1	58.1	1.2	97	79	25.3	3.5					6.2			-0.3	-0.3		-0.2	△	
	R5	8/9	+1	9/16	+3	80.9	19.8	420	0	少	微	少	170	87.2	77.8	61.6	0.4	97	89	24.1	3.2					6.5	+0.2	+0.1	-0.0	+0.1	-0.1	-0.0	○	
	R6	8/9	+4	9/19	+4	87.4	19.4	455	0	無	無	無	178	87.7	83.3	66.0	1.6	104	95	24.4	4.5					6.7	+0.5	+0.1	+0.0	+0.1	-0.1	+0.1	○	
	平均	8/11	+2	9/23	+3	84.3	19.1	432	0				171	89.4	75.3	59.6	1.0	100	84	24.8	3.7					6.5	+0.3	+0.1	-0.1	-0.0	-0.1	-0.1		
つや姫	R3	8/9		9/25		78.9	17.0	447	0	微	無	無	158	84.8	68.1	52.0	3.0	(100)	80	22.6	3.5	76.8	0.3	0.0	1.6	6.8								
	R4	8/13		9/27		84.8	17.7	461	0	無	無	少	167	84.8	76.3	59.8	2.4	(100)	90	22.1	3.5	68.0	2.8	0.3	0.5	6.4								
	R5	8/8		9/13		81.3	18.3	421	0	無	無	少	166	82.5	79.9	63.4	0.7	(100)	97	21.8	3.2	57.8	12.4	0.2	0.2	6.6								
	R6	8/5		9/15		87.3	17.5	459	5	微	無	微	172	84.2	81.7	63.5	2.6	(100)	97	22.0	4.2	66.6	7.1	0.2	0.1	7.2								
	平均	8/9		9/20		83.1	17.6	447	1				166	84.1	76.5	59.7	2.2	(100)	91	22.1	3.6	67.3	5.6	0.2	0.6	6.8								
だて正夢	R3																																	
	R4	8/7	-6	9/20	-7	90.0	19.9	417	0	無	微	少	162	82.1	75.3	58.7	1.9	98	92	21.2	3.5					6.2				基準	基準		基準	
	R5	8/3	-5	9/9	-4	85.8	20.3	363	0	微	無	少	162	81.0	76.6	60.0	1.2	95	95	20.2	3.2					6.5	基準	基準	基準	基準	基準	基準	基準	
	R6	8/1	-3	9/12	-3	91.0	20.6	420	0	無	無	無	167	78.5	80.6	63.9	1.9	101	103	20.6	3.8					7.1	基準	基準	基準	基準	基準	基準	基準	
	平均	8/4	-5	9/14	-5	88.9	20.3	400	0				164	80.6	77.5	60.9	1.7	98	96	20.7	3.5					6.6	基準	基準	基準	基準	基準	基準	基準	
多肥 東北239号	R4	8/16	+3	10/1	+4	88.3	19.2	435	3	無	無	少	177	94.8	73.1	58.8	1.0	96	77	24.5	3.2					6.0								
	R5	8/9	+1	9/17	+3	86.9	19.7	471	13	少	微	少	193	101.4	84.5	67.0	0.6	101	83	23.7	3.5					6.7								
	R6	8/9	+4	9/19	+3	92.2	20.0	484	102	無	無	無	200	103.6	87.9	68.7	1.8	105	85	23.8	3.5					7.0								
	平均	8/11	+3	9/22	+3	89.1	19.6	463	39				190	99.9	81.9	64.8	1.1	101	82	24.0	3.4					6.6								
つや姫	R4	8/13		9/27		85.7	17.7	471	18	無	無	少	172	89.1	77.7	60.9	2.7	(100)	87	22.0	3.7	68.7	2.5	0.1	0.6	6.2								
	R5	8/8		9/14		85.1	18.1	482	10	無	微	少	177	87.5	84.3	66.0	1.5	(100)	96	21.2	3.7	56.0	12.2	0.3	0.3	6.9								
	R6	8/5		9/16		90.2	17.6	502	97	無	無	無	189	92.0	85.7	65.7	3.6	(100)	93	21.7	4.7	62.8	7.8	0.2	0.1	7.6								
	平均	8/9		9/19		87.0	17.8	485	42				179	89.5	82.6	64.2	2.6	(100)	92	21.7	4.0	62.5	7.5	0.2	0.3	6.9								
だて正夢	R4	8/6	-7	9/18	-9	90.9	19.5	419	0	無	無	少	161	80.8	73.9	57.4	2.0	94	91	20.4	4.2					6.1								
	R5	8/2	-6	9/9	-5	90.8	18.8	422	0	微	無	少	174	86.7	80.5	62.6	1.7	95	93	19.8	3.2					6.8								
	R6	8/2	-3	9/12	-4	96.8	20.8	436	2	微	無	無	178	84.8	76.7	60.8	2.1	93	91	19.9	3.5					7.4								
	平均	8/3	-5	9/13	-6	92.8	19.7	425	1				171	84.1	77.1	60.3	1.9	94	92	20.0	3.6					6.7								

注 1 脚注は 1 同様。
2 低アミロース種は穀粒判別器による品質判定不能。
3 食味官能試験は低アミロース種と比較。

表 9 令和6年度水稻優良品種決定基本調査 予備調査の調査結果

	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	諸障害					a当たり収量					外観		穀粒判別器				玄米		概評（対照品種との比較）					
						倒伏 成熟期 (0-400)	発病程度				全重 (kg)	わら重 (kg)	精粳重 (kg)	玄米重 (kg)	屑米重 (kg)	玄米重 対比 (%)	粳わら 比 (%)	玄米 千粒重 (g)	品質 (1-9)	整粒 粒比 (%)	白未熟 粒比 (%)	死米 粒比 (%)	胴割粒 粒比 (%)	タンパク (乾物%)	有望度	長所		短所	
(早生)																													
奥羽451号	7/27	8/28	81.3	19.4	443	20	微	無	無	無	151	65.7	78.8	60.3	3.9	105	120	22.8	3.3	58.7	14.0	1.2	0.2	6.9	×	・ 収量(+5%)、外観品質(-1.0)優る。 ・ 整粒粒比(+10.3%)優る。 ・ 稈長(-5.5cm)短い。	・ 出穂期やや遅い。		
(対)やまのしずく	7/24	8/28	86.8	19.4	446	0	無	無	微	無	150	65.7	77.8	57.4	5.4	(100)	118	21.6	4.3	48.4	18.7	3.5	0.1	7.6					
(比)あきたこまち	7/25	8/28	89.8	19.3	475	85	無	無	微	無	150	67.8	74.3	56.5	3.8	99	110	21.9	3.8	54.7	15.8	2.3	0.2	7.3					
(中生)																													
岩手159号	7/30	9/2	89.8	20.7	433	0	無	無	無	無	162	76.7	79.9	64.5	1.8	113	104	24.0	2.8	72.6	2.7	0.2	1.8	6.8	○	・ 収量(+13%)、整粒粒比(+6.0%)優る。 ・ 外観品質(-0.3)やや優る。	・ 稈長(+0.9cm)長い。 (倒伏はなし。)		
秋田135号	8/2	9/5	87.2	20.1	424	8	無	無	無	無	158	74.1	78.3	60.0	3.3	105	106	23.8	4.0	67.4	10.3	0.7	0.3	6.8	×	・ Cd低吸収性(<i>osnramp5-2</i> 保有)。 ・ 収量(+5%)優る。 ・ 千粒重(+0.9g)大きい。	・ 外観品質(+0.9)劣る。		
奥羽454号	8/2	9/5	77.0	20.8	449	0	無	無	無	無	164	77.4	81.7	62.3	4.4	109	105	21.9	2.5	65.2	2.1	0.1	0.5	6.8	△	・ 収量(+9%)、外観品質(-0.6)優る。 ・ 稈長(-11.9cm)短い。	・ 千粒重(-1.0g)小さい。		
東北245号	8/2	9/6	87.8	20.4	477	30	無	無	無	無	167	78.5	81.9	63.1	3.2	111	104	22.2	3.5	68.3	4.0	0.3	0.1	7.1	△	・ 収量優る(+11%)。 ・ 外観品質(+0.4)やや劣る。 ・ 千粒重(-0.7g)やや小さい。			
東北246号	8/2	9/7	86.9	18.9	512	15	無	無	無	無	162	76.9	79.6	61.9	3.3	108	104	22.3	2.8	70.0	4.6	0.4	0.3	6.9	○	・ 収量(+8%)優る。 ・ 外観品質(-0.3)やや優る。	・ 千粒重(-0.6g)やや小さい。		
山形165号	8/2	9/8	84.8	19.0	464	0	無	無	無	無	163	83.1	76.3	61.4	1.2	108	92	23.3	2.0	72.3	3.5	0.2	0.1	7.0	◎	・ 収量(+8%)、外観品質(-1.1)優る。 ・ 整粒粒比(+5.7%)優る。			
(対)ひとめぼれ	7/31	9/3	88.9	19.4	493	95	無	無	無	無	152	71.5	73.6	57.1	2.8	(100)	103	22.9	3.1	66.6	8.9	1.1	0.1	7.2					
(比)げんきまる	8/3	9/11	90.4	20.6	349	0	無	無	微	無	170	79.2	81.1	65.0	1.5	114	102	24.0	3.5	69.5	7.5	0.3	1.5	6.7					
(晩生)																													
福島66号	8/5	9/13	86.6	18.9	506	0	無	無	無	無	173	86.6	81.6	64.3	1.7	105	94	21.8	2.8	68.5	3.8	0.4	0.2	6.5	○	・ 収量(+5%)優る。			
山形158号	8/12	9/18	81.8	18.6	470	0	無	無	無	少	178	91.3	80.7	64.3	1.5	105	88	24.1	2.5	72.3	2.1	0.0	0.2	6.5	◎	・ 収量(+5%)、外観品質(-0.5)優る。 ・ 千粒重(+2.1g)大きい。 ・ 整粒粒比(+6.1%)優る。 ・ 出穂期遅い。			
(対)つや姫	8/6	9/14	84.3	17.6	446	5	無	無	無	少	163	80.7	77.2	61.4	1.8	(100)	96	22.0	3.0	66.2	7.1	0.3	0.1	7.1					
(比)コシヒカリ	8/8	9/12	105.5	19.1	433	253	微	無	微	少	168	85.6	74.7	57.5	3.2	94	87	21.5	4.8	55.7	10.5	0.4	0.9	7.0					

注 1 倒伏は倒伏程度（0：無倒伏～4：完全倒伏）別の面積比率により、0～400で示した。
2 発病程度は、発生予察事業の調査実施基準に準じた。ただし、「少」に達しない発病については「微」とした。
3 玄米は篩目1.8mmで調製し、水分15％に換算した。
3 外観品質は、上上～下下を1～9で示した。
4 整粒粒比、白未熟粒比（乳白粒比、基部未熟粒比、背腹白未熟粒比の合計）、死米粒比及び胴割粒粒比は、S社製穀粒判別器（RGQ1100B）で測定した。
5 玄米タンパク質含有率は、F社製近赤外成分測定装置（インフラテックNOVA）で測定した。
6 有望度の凡例 ◎：有望、○：やや有望、△：継続検討、×：試験打ち切り

令和6年度主要農作物品種審査会

水 稻

審 議 事 項

令和7年2月

宮城県

水稻優良品種「ヒメノモチ」、「こもちまる」を廃止することについて

1 廃止しようとする品種名、優良品種区分及び採用年次

「ヒメノモチ」（特定品種、昭和５３年採用）

「こもちまる」（特定品種、平成２５年採用）

2 廃止する根拠

宮城県優良品種決定基準の２（３）により廃止とする。

（参考）

◆宮城県優良品種決定基準（令和２年９月１８日決定）の一部抜粋

2 優良品種の廃止基準

知事は、優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは、当該優良品種を廃止することができる。

（１）優良品種の特性が変化し、１の基準を満たさなくなった場合

（２）普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要とされる特性に関し、重大な欠点が見られた場合

（３）当該品種に係る作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い場合

（４）新たな優良品種によって代替が可能である場合

（５）当該品種の種子の供給が困難となった場合

◆宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について（内規）（令和２年９月１８日決定）の一部抜粋

3 基幹・特定品種の廃止について

基幹・特定品種に採用されてから３年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稻	麦 類	大 豆
100ha	50ha	50ha

3 廃止しようとする品種の作付面積の推移

年次	水稻作付面積 県計（ha）	ヒメノモチ		こもちまる	
		作付面積（ha）	作付比率（％）	作付面積（ha）	作付比率（％）
令和２年	59,442	22	0.04	15	0.02
令和３年	59,090	30	0.05	16	0.03
令和４年	56,564	18	0.03	11	0.02
令和５年	56,468	14	0.02	14	0.02
令和６年	51,839	13	0.02	13	0.03

注）作付面積は、種子供給量（公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部）を面積換算（4kg/10a）した。

合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

令和7年度優良品種決定調査に供する品種（稲）について

1 優良品種として要望される品種（育種の方向性）（案）

気候変動に対応し、いもち病等の病害虫に強く、高温登熟性・耐冷性・耐倒伏性に優れた以下の特性を有する品種

イ 既存の優良品種を上回る特性を持ち、主力となりうる品種

(イ) 高温登熟耐性に特に優れた品種

(ロ) 極良質・極良食味で他県の銘柄に対抗する品種

(ハ) 「コシヒカリ」、「つや姫」以降の熟期で、極良質・極良食味の晩生品種

(ニ) 既存の優良品種に、生産者・消費者・実需者等のニーズに適応する望ましい特性を付与した品種

ロ 中食・外食等の業務用ニーズに対応する品種

(イ) 業務用に対応する品質・食味を持ち、収量性に優れた品種

(ロ) チルド加工適性の高い低アミロース品種

(ハ) 大量調理に適した優れた炊飯適性を持つ品種

ハ 新たな需要を創出する品種

(イ) 輸出を前提とした低コスト栽培及び収量性に極めて優れる品種

(ロ) 米粉用、酒造用、健康・機能性市場対応などに実需者からの要望があり、特定需要が見込まれる品種

2 令和7年度水稻優良品種決定調査の供試品種及び系統案

種 類		早 晩 性	基本調査		現地調査
			本調査		
			品種・系統名	要望される品種	
うるち	早 生	山形 160 号 (2) (対)やまのしずく (比)あきたこまち	ロ-(イ)	山形 160 号 (2) (対)やまのしずく	
		東北 233 号 (5) 東北 245 号 (1) 東北 246 号 (1) 東北 247 号 (1) 岩手 159 号 (1) 奥羽 454 号 (1) 山形 165 号 (1) (対)ひとめぼれ (比)まなむすめ (比)げんきまる	イ-(イ) イ-(イ)、イ-(ニ) イ-(イ) イ-(イ) ロ-(イ) ロ-(イ) イ-(イ)	東北 233 号 (5) 東北 245 号 (1) 東北 246 号 (1) 東北 247 号 (1) 岩手 159 号 (1) 奥羽 454 号 (1) 山形 165 号 (1) (対)ひとめぼれ	
	晩 生	福島 66 号 (1) 山形 158 号 (1) (対)つや姫 (比)コシヒカリ	イ-(イ) イ-(イ)	福島 66 号 (1) 山形 158 号 (1) (対)つや姫	
		東北 239 号 (4) (対)つや姫 (比)だて正夢	イ-(ハ)、ロ-(ロ)	※加工適性の調査が目的なので 現地調査は実施しない。	
	計		11		10

注1 (対) は対照品種、(比) は比較品種。

2 本調査及び現地調査の () 内の数字は当該調査への供試年数。

3 東北 247 号は宮城県主要農作物優良品種決定調査要領第4第2項に基づき、予備調査を省略して供試。

4 予備調査の供試系統については、各育成地の配付系統情報が揃った後、適宜選定する。

令和7年度水稻優良品種決定調査（本調査）供試系統の特性概要

区分	系統・品種名	交配組合せ	調査年数 (本調査)	草型	稈長	耐倒伏性	穂発芽性	障害型 耐冷性	高温登熟 耐性	いもち病抵抗性		品質	食味	備考
										真性	穂			
新 作 米	山形160号	東北224号 / 山形139号	2	早生	中間	中	や難	か強	強	<i>Pij</i>	強	上上	上中	多収、 <i>Pi39</i> 、 <i>Pb1</i> 、良食味
	早生 (対)やまのしずく		-	早生	偏穂数	中	や難	強	-	<i>Pij</i>	強	上中	上下	
	(比)あきたこまち		-	早生	偏穂数	や長	や弱	中	中	<i>Pia</i> 、 <i>i</i>	中	や弱	上中	
	東北233号	東1290 / 福島33号	5	中生	中間	中	難	強	や強	<i>Pij</i>	か強	上中	上中	<i>Pi39</i> 、良質良食味
	東北245号	東北231号 / 東北224号	1	中生	偏穂数	や長	や強	強	中	<i>Pij</i>	か強	上中	上中	<i>Pi35</i> 、 <i>Pi39</i> 、良質良食味
	東北246号	東北231号 / 東北224号	1	中生	穂数	や長	中	や強	や強	<i>Pij</i>	か強	上中	上中	<i>Pi39</i> 、良質良食味
	東北247号	東北231号 / 17P-505	1	や晩生	偏穂数	や短	不明	強	強	<i>Pij</i>	や強	上中	上中	<i>pi21</i> 、 <i>Pb1</i> 、良質良食味
	中 生 う る ち	岩手159号 / 岩1344	1	中生	偏穂重	や長	難	極強	-	<i>Pia</i> 、 <i>i</i>	極強	上中	上中	
	山形165号	山形143号 / 庄5471	1	中生	中間	や短	や難	か強	中	<i>Pij</i>	強	上上	上中	多収、 <i>Pb1</i> 、良質良食味
	奥羽454号	奥羽442号 / 羽系2216	1	中生	偏穂数	短	や難	か強	強	<i>Pij</i>	か強	上中	上中	<i>Apq1</i> 、 <i>Pi39</i>
新 作 米	(対)ひとめぼれ		-	中生	偏穂数	や長	や弱	強	中	<i>Pij</i>	や弱	中	上中	
	(比)まなむすめ		-	中生	中間	中	や強	強～や強	-	<i>Pij</i>	中	強	上中	
	(比)げんきまる		-	や晩生	中間	や長	難	強～や強	-	<i>Pia</i> 、 <i>b</i>	(中)	(中)	上下	
	山形158号	山形120号 / 東北224号	-	か晩生	中間	中	や難	中	強	<i>pi</i> 、 <i>k-m</i>	強	上中	上中	多収、良食味
	福島66号	北陸251号 / 福島39号	-	晩生	偏穂数	中	や難	や強	強～や強	<i>Pia</i>	強	上中	上中	多収、良食味
	晩生 (対)つや姫			晩生	中間	や短	中	や弱	や強	<i>pi</i> 、 <i>k-m</i>	(強)	上中	上中	
	(比)コシヒカリ			晩生	中間	長	弱	強	中	+	弱	上下	上中	
	東北239号	東北225号 / 東北222号	4	晩生	中間	短	中	か強	-	<i>Pij</i>	か強	上中	上中	やや低アミロース
	晩生 (対)つや姫		-	晩生	中間	や短	や強	や弱	や強	<i>pi</i> 、 <i>k-m</i>	(強)	上中	上中	
	(比)だて正夢		-	中生	中間	や長	や強	や難	強	<i>Pia</i> 、 <i>b</i>	(中)	(や強)	上中	やや低アミロース

注1 対照品種：優良品種として普及しており、調査対象品種の比較対照の基準となる品種。比較品種：特定の形質を比較するための品種。

2 諸特性は育成地における評価（ただし、早晩性は古川農試における出穂期）。「や」は「やや」、「か」は「かなり」を略記。

3 いもち病抵抗性の()書きは、いもち病ほ場抵抗性検定の東北地域向け基準品種の追加策定(共同研究)におけるR5暫定評価。

4 備考の*pi21*、*Pi35*、*Pi39*、*Pb1*は、いもち病ほ場抵抗性に関係している遺伝子。*Apq1*は高温登熟性に関係している遺伝子。

研究課題名：4-1)-(1) 水稻品種の育成（東北 247 号、東北 248 号）
担当部署名：宮城県古川農業試験場作物育種部
担当者名：千葉文弥、木皿正人、菅原冬葵、増田秀平、千葉遼太郎
協力分担：なし
予算(期間)：県単(2011 年度～)

1. 来歴及び特性の概要

東北 247 号（古 58）：東北 231 号／17P-505^{注1)} 2024 年 F₇
注) 17P-505：東 1463（後の「東北 214 号」）／富山 80 号（後の「コシヒカリ富山 APQ1 号」）

やや晩生。高温登熟性に優れ、いもち病抵抗性、耐冷性が強い良質極良食味系
やや晩生の粳種。偏穂数型。「ひとめぼれ」と比較して、稈長、穂長はやや短く、穂数はやや少なく、耐倒伏性は“やや強”。玄米千粒重は「ひとめぼれ」と同程度、収量性は「ひとめぼれ」と同程度かやや劣る。玄米品質は「ひとめぼれ」より明らかに優る。いもち病真性抵抗性遺伝子型は“*Pii*”と推定され、いもち病圃場抵抗性遺伝子 *pi2l* 及び *Pbi* を保有しており、圃場抵抗性は葉いもちが“強”～“やや強”、穂いもちが“強”である。高温登熟性は“強”、障害型耐冷性は“強”、穂発芽性は“不明”である。食味は「ひとめぼれ」並の極良食味である。

東北 248 号（古 76）：東北 227 号／秋田 63 号 2024 年 F₁A₄

やや晩生。「げんきまる」を上回る多収で、いもち病抵抗性、耐冷性が強い良質良食味系統
やや晩生の粳種。中間型。「げんきまる」と比較して、稈長は同程度かやや長く、穂長は同程度、穂数は多く、耐倒伏性は“中”。玄米千粒重は「げんきまる」と同程度かやや重く、収量性は「ひとめぼれ」より明らかに高く、「げんきまる」に優る。玄米品質は「げんきまる」と同程度かやや優る。いもち病真性抵抗性遺伝子型は“*Pia*”及び“*Pik-m*”と推定され、圃場抵抗性は葉いもちが“強”、穂いもちが“不明”である。障害型耐冷性は“強”、高温登熟性は“やや弱”、穂発芽性は“中”である。食味は「げんきまる」に優り、「ひとめぼれ」に近い良食味である。

2. 配付予定地 東北中部以南

3. 試験成績

表1 生育及び収量

系統名 または 品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	倒伏 ²⁾ 程度 (0-4)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	玄米重(kg/a)				玄米 千粒重 (g)	玄米 ²⁾ 品質 (1-9)
							標肥 区	同左 比率(%)	多肥 区	同左 比率(%)		
東北247号	8.03	9.04	0.0	78.3	17.8	433	53.4	97	61.8	101	22.2	2.0
ひとめぼれ	7.30	9.03	2.0	82.4	18.8	450	55.2	(100)	61.3	(100)	22.1	3.0
まなむすめ	7.30	9.03	0.0	79.3	19.5	368	55.8	101	65.0	106	23.8	2.6
げんきまる	8.02	9.03	0.0	82.6	20.4	311	57.3	104	68.3	111	22.4	3.0
東北248号	8.03	9.04	0.0	93.5	21.1	417	67.1	107	76.0	109	23.6	3.3
げんきまる	8.01	9.01	0.0	90.7	21.3	350	62.5	(100)	69.9	(100)	23.4	4.5
ひとめぼれ	7.31	8.31	2.0	89.3	20.2	512	61.2	98	63.1	90	22.2	3.8

注1) 東北247号：標肥区(N0.4kg/a)における2023～2024年の2年平均で、多肥区(N0.4+0.3kg/a)玄米重は2024年の数値。
東北248号：多肥区(N0.4+0.3kg/a)における数値（2024年）で、標肥区(N0.4kg/a)玄米重も同一年の数値。
注2) 倒伏程度は無(0)～甚(4)。玄米品質は良(1)～不良(9)。

表2 各種特性

系統名 または 品種名	いもち病抵抗性 ^{注1)}					耐冷性 ^{注2)}		穂発芽性 ^{注3)}		高温登熟性 ^{注4)}			
	真性	葉いもち		穂いもち		室内		発芽粒		整粒 率	白未熟 粒率	白未熟	
		発病 程度	判定	罹病 ¹⁾ 率(%)	判定	不稔歩合 (%)	判定	歩合 (%)	判定			粒発生 程度	判定
東北247号	<i>Pii</i>	4.0	強～やや強	11.9	強	58.2	強	4	不明	53.1	7.6	1.2	強
ひとめぼれ	<i>Pii</i>	5.7	やや弱	17.9	中	60.9	強	6	不明	24.2	44.8	4.9	中
まなむすめ	<i>Pii</i>	5.3	中	15.3	強	—	—	5	不明	—	—	—	—
東北248号	<i>Pia, Pik-m</i>	2.8	強	3.2	不明	24.9	強	54	中	30.3	33.4	3.8	やや弱
げんきまる	<i>Pib</i>	—	—	—	—	73.6	中	65	中	36.9	14.0	2.0	(保留)
ひとめぼれ	<i>Pii</i>	—	—	—	—	22.1	強	45	やや難	34.8	25.5	3.8	中

注1) 葉いもち検定は畑晩播法による評価（2023～2024年の平均値）。発病程度は0：病斑なし～10：全茎葉枯死。
穂いもち検定は、罹病葉による発病促進条件下での評価（2023～2024年の平均値）。
注2) 恒温深水法による検定（水深25cm、2024年）。東北247号及び比較品種は水温18.5℃、東北248号及び比較品種は水温19.0℃の水を循環灌漑。
注3) 成熟期に採取した穂を25℃で発芽させ、発芽粒歩合を達観調査（2024年）。東北247号及び比較品種は発芽粒歩合が極端に低く判定不能。
注4) ガラス室による検定（東北247号及び比較品種は2023～2024年の平均値、東北248号及び比較品種は2024年の数値）。目標温度28℃とし、換気と暖房で調節。整粒率及び白未熟粒率(乳白、基白、背腹白、白死米の合計が全粒に占める割合)は穀粒判別器(サタケRGQI100B)による計測値。白未熟粒発生程度は、乳白粒、基白粒、腹白粒、背白粒、心白粒の発生程度を0（無）～9（甚）で達観評価した合計値。

表3 食味

系統名・品種名	外観	香り	味	粘り	硬さ	総合	基準品種
東北247号	0.19	0.04	0.12	-0.46	0.23	-0.23	ひとめぼれ（食）
ひとめぼれ	0.15	0.04	0.00	-0.04	-0.62	-0.19	
東北248号	0.19	-0.23	-0.27	-0.04	-0.19	-0.31	ひとめぼれ（食）
げんきまる	-0.31	-0.12	-0.31	-0.62	-0.77	-0.65	
ひとめぼれ	-0.19	0.00	-0.15	0.15	-0.35	-0.31	

注1) 外観，香り，味，総合は-5（基準よりかなり不良）～+5（基準よりかなり良），
粘りは-5（基準よりかなり粘らない）～+5（基準よりかなり粘る），
硬さは-3（基準よりかなり軟らかい）～+3（基準よりかなり硬い）で評価した。
注2) 各系統及び比較品種は，標肥区2024年産のデータ。ひとめぼれ(食)は，同年の別試験区サンプルを使用。

表4 高温登熟性

系 統 名 は な ま 品 種	2024										
	出穂期 (月.日)	登熟 気温 (℃)	機器評価		達観調査						判定
			整粒率 (%)	白未熟粒率 (%)	発生程度(0-9)						
					腹白	心白	乳白	背白	基白	計	
東北247号	8.16	29.5	66.6	0.7	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2	0.4	強
東北248号	8.11	29.5	30.3	33.4	0.3	0.5	1.3	0.8	1.0	3.8	やや弱
みねはるか	8.13	29.6	42.8	18.8	0.0	0.0	1.5	0.4	0.8	2.6	(やや強)
ひとめぼれ	8.14	29.5	34.8	25.5	0.0	0.0	1.8	0.8	1.3	3.8	(中)
はえぬき	8.13	29.6	31.1	38.5	0.0	0.0	3.8	1.0	0.8	5.5	(中)
ササニシキ	8.10	29.4	24.2	40.4	0.0	0.0	5.5	1.3	1.0	7.8	(弱)
笑みの絆	8.16	29.5	51.0	10.0	0.3	0.0	0.5	0.1	0.4	1.2	(強)
つや姫	8.16	29.5	48.1	9.5	0.0	0.3	0.5	0.4	0.4	1.5	(やや強)
コシヒカリ	8.16	29.5	40.6	17.4	0.0	0.0	0.4	2.0	1.3	3.6	(中)

注1) ガラス室による検定。
処理期間：最初の材料の出穂始め～最後の材料の出穂後25日まで。
処理温度：目標温度28℃とし、換気と暖房で調節。
5月下旬播種、6月中旬移植。
判定は、穀粒判別器(サタケRGQI100B型)による
白未熟粒率(乳白、基白、背腹白、白死米の合計が全粒に占める割合)と、
達観による腹白、心白、乳白、背白、基白の発生程度(0～9)による評価。
注2) 括弧内は基準品種の評価。
注3) 登熟気温は出穂後25日間の平均気温。

大 豆 報 告 事 項

令和 6 年度優良品種決定調査成績

令和6年度優良品種決定調査に供した品種(大豆)について

1 優良品種として要望される品種(大豆)

良質多収で機械による収穫適性及びタンパク含量が高く、加工適性に優れた以下の特性を有する品種。

イ 晩播栽培に適する品種。

ロ ダイズシストセンチュウ抵抗性が強い品種。

ハ 「タンレイ」より紫斑病抵抗性が強い品種。

2 供試品種及び系統

区分	早晩性	基本調査（供試年数）			現地調査
		予備調査	本調査	要望される品種	
普通	早生	東北 193 号（1）	東山 239 号（4）	ハ	東山 239 号（1）
	中生早		関東 155 号（1）	イ	
	中生	（標）タンレイ			
	中生晩	東北 197 号（1）	東北 191 号（4）	ロ	東北 191 号（3）
			北陸 6 号（1）	イ	
			東北 194 号（1）	イ	
			（標）タチナガハ		
	（比）ミヤギシロメ、（比）すずみのり				
計		2	5		2

注1) (標): 標準品種(対照)を示す。

注2) (比): 比較品種を示す。

3 現地調査実施場所及び供試系統

供試系統	標準品種	実施場所
東山 239 号	タンレイ	石巻 (1)、美里 (1)
東北 191 号	タチナガハ	登米 (3)、美里 (2)

令和 6 年度大豆優良品種決定調査供試系統の特性概要

本調査

○収量、品質は令和 5 年度調査結果

●育成地の評価・特記事項

系統名	供試 年数	要望 品種	交配組合せ	特性の概要
東山 239 号	4	ハ	東山 213 号 (シュウレイ) ／ 東山 212 号	○収量が優る。 ○外観品質が優る。 ○青立ちが少ない。 ●紫斑病抵抗性“強～極強”。 ●SMV 抵抗性 (AA2BCD)。 ●SCN 抵抗性“中”。 令和6年度は栽培特性の年次変動、加工適性および現地適応性について検討。
東北 191 号	4	ロ	里のほほえみ ／ ふくいぶき	○収量が優る。 ○青立ちが少ない。 ●SMV 抵抗性 (ABCD)。 ●SCN 抵抗性“強”。 ●難裂莢性を有する。 令和6年度は栽培特性の年次変動、加工適性および現地でのSCN抵抗性について検討。
関東 155 号	1	イ	作系 176 ／ Santee	○収量が優る。 ○外観品質が優る。 ○青立ちが少ない。 ●SMV 抵抗性 (AA2BCD)。 ●難裂莢性を有する。 令和6年度は栽培特性の年次変動について検討。
北陸 6 号	1	イ	里のほほえみ ／ 作系 99 号	○収量が優る。 ●SMV 抵抗性 (AA2B)。 ●難裂莢性を有する。 令和6年度は栽培特性の年次変動について検討。
東北 194 号	1	イ	サチユタカ ／ LD00-3309	●海外多収品種導入。 ●難裂莢性を有する。 令和6年度は密植栽培の適応性について検討。

注) SMV:ダイズモザイクウイルス 大豆に感染するウイルス病の一種。A、A2、B、C、D、E の6つの系統がある。

SCN:ダイズシストセンチュウ 大豆を加害するセンチュウの一種。

予備調査

●育成地の評価

系統名	供試 年数	要望 品種	交配組合せ	特性の概要
東北 193 号	2	－	里のほほえみ ／ トヨハルカ	●晩播狭畦密植栽培向けの早生系統。 ●SMV 抵抗性(ABCD)。 ●SCN 抵抗性“強”。
東北 197 号	1	－	里のほほえみ ／ 作系 176 号	●SMV 抵抗性(ABCD)。 ●SCN 抵抗性“強”。 ●難裂莢性を有する。

表1 令和6年度大豆優良品種決定基本調査成績概要（本調査）

系統・品種名	調査年数 本 現 地	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	諸障害			主茎長 (cm)	最下 着莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	分枝 節数 (本/株)	有効 莢数 (個/株)	粗子実重 (kg/a)	同左 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質 (1-7)	障害粒				子実成分				概評（対照品種との比較）					現地試験 有望度		
				倒伏	蔓化	青立											紫斑	褐斑	裂皮	虫害	粗蛋白質 (%)	粗脂肪 (%)	全糖 (%)	有望度	長所	短所	登米	美里	栗原			
				程度	程度	程度																										
				(0-5)	(0-5)	(0-5)																										
(早生) 東山239号	4 1	(標播)	7/21	10/23	0.3	0.0	0.0	89.0	22.5	17.3	8.5	48.2	109.7	48.1	150	34.3	4.3	0	0	1	1	46.5	20.7	18.0	○	・最下着莢高が高い ・粗子実重が多い ・青立ちの発生が少ない ・外観品質がやや優る ・紫斑・褐斑粒の発生が少ない	・特になし	○	○			
		(晩播)	8/7	10/24	1.0	0.0	1.0	83.7	20.3	14.7	5.8	31.0	82.3	61.0	111	30.6	4.0	1	1	0	2	46.2	20.4	18.9								
(中生の早) 関東155号	1 -	(標播)	7/22	10/23	0.0	0.0	3.0	86.3	14.2	16.1	9.5	33.1	176.0	51.6	161	29.8	5.3	2	1	2	1	43.5	21.0	19.3	◇	・標播の粗子実重が多い ・紫斑粒の発生が同程度						
		(晩播)	8/7	10/29	1.0	0.0	1.0	78.9	12.1	13.4	7.1	31.8	107.3	54.5	99	27.5	5.5	1	1	1	1	42.3	21.3	19.9								
(対)タンレイ	- -	(標播)	7/22	10/25	0.0	0.0	3.2	84.7	16.8	16.8	6.9	38.5	110.9	32.1	100	31.5	5.7	2	1	2	1	46.2	19.8	19.8		収量性や被害粒の発生程度等の年次変動を見るため再検討						
		(晩播)	8/7	10/25	1.0	0.0	2.0	79.5	10.1	14.4	4.9	22.8	101.5	54.9	100	28.6	5.5	1	1	1	1	45.4	19.9	20.6								
(中生の晩) 東北191号	4 3	(標播)	7/22	10/25	0.0	0.0	2.3	91.8	18.2	17.0	8.5	47.1	99.9	37.3	112	35.0	5.0	0	0	2	1	46.4	20.0	20.1	○	・青立ち程度が小さい ・最下着莢高が高い ・標播の粗子実重がやや多い ・紫斑・褐斑粒の発生が少ない	・晩播の粗子実重が少ない	◇	△			
		(晩播)	8/7	11/2	0.5	0.5	2.5	86.2	19.5	14.1	7.0	116.5	61.7	48.5	67	36.0	5.0	0	1	0	1	46.0	20.0	20.2								
北陸6号	1 -	(標播)	7/24	10/24	0.0	0.0	1.0	85.8	13.6	16.7	5.7	31.5	119.1	42.5	127	33.7	5.0	0	0	2	1	43.8	20.8	19.4	◇	・青立ち程度が小さい ・最下着莢高が同程度 ・標播の粗子実重が多い ・紫斑・褐斑粒の発生が少ない	・晩播の粗子実重が少ない					
		(晩播)	8/9	10/29	0.5	0.0	2.0	86.7	20.0	14.4	2.8	13.6	67.9	48.0	66	36.9	4.5	1	1	1	1	45.9	20.0	20.1								
(対)タチナガハ	- -	(標播)	7/22	11/2	0.0	0.0	4.3	90.6	14.7	17.2	11.3	57.3	91.6	33.4	100	38.0	5.0	1	1	2	1	44.2	20.6	20.4		収量性や被害粒の発生程度等の年次変動を見るため再検討						
		(晩播)	8/9	11/18	0.5	0.5	4.0	80.0	19.0	14.5	8.5	39.9	105.2	72.9	100	38.3	4.5	0	1	0	1	44.8	19.9	20.8								
(比)ミヤギシロメ	- -	(標播)	7/26	11/2	1.3	2.0	3.0	116.0	22.9	18.9	10.3	70.0	120.9	48.3	—	40.4	5.7	0	1	2	1	41.7	19.4	23.0								
		(晩播)	8/11	11/8	1.0	2.0	4.0	111.3	14.8	16.0	7.2	41.3	69.1	45.6	—	41.4	4.5	0	1	0	1	44.1	18.9	23.4								
(比)すずみのり	- -	(標播)	7/25	10/30	0.0	0.7	2.7	97.0	18.9	17.8	8.5	58.0	87.2	34.7	—	36.9	5.0	0	0	1	1	46.9	19.4	19.3								
		(晩播)	8/7	11/2	2.0	1.0	3.0	96.5	22.4	15.1	8.6	37.5	76.0	58.8	—	33.9	4.0	0	1	0	1	45.9	19.0	20.2								

表2 令和6年度大豆優良品種決定基本調査成績概要（予備調査）

系統・品種名	調査年数		開花期 (月日)	成熟期 (月日)	諸障害			主茎長 (cm)	最下 着莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	分枝 節数 (本/株)	有効 莢数 (個/㎡)	粗子実重 (kg/a)	同左 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質	障害粒				子実成分			概評（対照品種との比較）													
	予	現 地			倒伏	蔓化	青立											着莢高	節数	節数	莢数	粗子実重	対照比	品質	紫斑	褐斑	裂皮	虫害	粗蛋白質	粗脂肪	全糖	有望度						
					程度	程度	程度																															
					(0-5)	(0-5)	(0-5)																															
長所																												短所										

(中生の晩)	東北197号	1	-	(標播)	7/23	10/25	0.0	0.0	2.3	88.1	16.8	16.9	8.6	51.5	93.9	34.9	104	34.8	4.7	1	0	1	1	46.0	20.6	19.7	◇	・最下着莢高が同程度 ・青立ちの程度が小さい ・褐斑粒の発生割合が低い			・晩播の粗子実重が少ない ・百粒重が小さい		
				(晩播)	8/9	11/2	0.0	0.5	2.0	79.4	16.5	14.9	8.2	37.7	73.0	54.5	75	34.1	4.0	1	1	1	1	44.5	20.3	21.1							
栽培適性や収量性等の年次変動を見るため再検討																																	
(対)タチナガハ		-	-	(標播)	7/22	11/2	0.0	0.0	4.3	90.6	14.7	17.2	11.3	57.3	91.6	33.4	100	38.0	5.0	1	1	2	1	44.2	20.6	20.4							
				(晩播)	8/9	11/18	0.5	0.5	4.0	80.0	19.0	14.5	8.5	39.9	105.2	72.9	100	38.3	4.5	0	1	0	1	44.8	19.9	20.8							

注1) 諸障害の発生程度は、無:0,微:1,少:2,中:3,多:4,甚:5を示す。

注2) 品質は、上の上:1,上の中:2,上の下:3,中の上:4,中の中:5,中の下:6,下:7を示す。

注3) 粗蛋白質含有率は、東北農業研究センターにおける近赤外分光分析法(全粒大豆)による無水分中の含有率。窒素蛋白質換算係数は6.25。

注4) 評価の凡例 ◎:有望 ○:やや有望 ◇:再検討 △:やや劣る ×:劣る

<耕種概要>本調査・予備調査

試験区	標播区	晩播区
ほ場	古川農業試験場内F4圃場	
播種期	5月23日	6月25日
反復数	3区	2区
栽植密度	13.3本/㎡	26.7本/㎡
畦間	75cm	
株間	20cm	10cm
除草剤	エコトップP乳剤(播種後) 5月25日 大豆バサグラン 7月5日 ボルトフロアブル 7月12日	エコトップP乳剤(播種後) 6月27日
中耕・培土	7月3日、7月16日	7月22日
土改剤	粒状苦土石灰(5kg/a)	
基肥	高度化成550(大豆専用) N:P:K＝0.2：0.6：0.8(kg/a)	
病害虫防除 (ドローン散布)	クルーザーMAXX（種子処理）	
	ファンタジスタフロアブル	8月14日
	ブレバソnfフロアブル5	8月14日
	ブランドム乳剤	9月4日
	スミチオン乳剤	9月4日

表 3 令和 6 年度大豆優良品種決定基本調査成績概要（密植適応性調査）

系統・品種名	調査年数		開花期 (月日)	成熟期 (月日)	諸障害			主茎長 (cm)	最下 着莢高 (cm)	主茎 節数 (節/本)	分枝数 (本/株)	分枝 節数 (本/株)	有効 莢数 (個/株)	粗子実重 (kg/a)	同左 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質	障害粒				子実成分			概評（対照品種との比較）			
	供 試	現 地			倒伏	蔓化	青立											紫斑	褐斑	裂皮	虫害	粗蛋白質	粗脂肪	全糖			有望度	
					程度	程度	程度											(0-5)	(0-5)	(0-5)	(0-5)	(%)	(%)	(%)				
					(0-5)	(0-5)	(0-5)											(0-5)	(0-5)	(0-5)	(0-5)	(%)	(%)	(%)	長所	短所		
東北194号	再1	-	(標播)	7/22	10/24	4.0	2.0	0.0	90.7	18.6	18.3	3.6	29.8	53.4	49.6	72	27.7	6.0	1	1	2	1	43.4	20.3	18.9	△	・晩播の粗子実重が多い ・倒伏程度が大きい ・標播の粗子実重が少ない ・百粒重が小さい	
		(晩播)	8/8	10/29	3.5	2.0	1.0	70.9	14.4	15.5	3.1	16.4	62.3	59.1	110	27.2	5.5	1	0	1	0	43.8	19.6	19.7				
東北193号	予1	-	(晩播)	7/29	10/26	1.0	0.0	0.5	57.5	12.9	10.9	2.4	11.2	31.6	39.3	73	32.9	5.5	1	0	1	2	46.8	20.5	18.9	◇		特性を把握したため次年度は供試しない。
		(極晩播)	8/19	11/9	0.0	0.0	0.0	40.6	9.7	9.8	2.2	9.3	24.0	25.0	47	37.8	6.0	1	0	0	1	46.5	19.4	20.4	・倒伏、蔓化程度が小さい ・粗子実重が少ない			
(対) タンレイ	-	-	(標播)	7/22	10/25	2.3	1.3	0.0	98.5	11.9	17.7	5.9	30.3	67.5	69.0	100	29.7	5.7	2	1	1	2	46.2	19.8	19.8	育成地で供試を中止することから次年度は供試しない		
		(晩播)	8/8	10/30	3.5	2.0	2.0	85.3	10.7	15.5	3.2	17.9	52.7	53.6	100	28.9	5.0	1	0	1	0	45.4	19.9	20.6				

注1) 諸障害の発生程度は、無:0,微:1,少:2,中:3,多:4,甚:5を示す。

注2) 品質は、上の上:1,上の中:2,上の下:3,中の上:4,中の中:5,中の下:6,下:7を示す。

注3) 粗蛋白質含有率は、東北農業研究センターにおける近赤外分光分析法(全粒大豆)による無水分中の含有率。窒素蛋白質換算係数は6.25。

注4) 評価の凡例 ◎:有望 ○:やや有望 ◇:再検討 △:やや劣る ×:劣る

<耕種概要>密植適応性調査

試験区	標播区	晩播区	極晩播区
ほ場	古川農業試験場内F4(ほ場		同B5(ほ場
播種期	5月28日	6月27日	7月25日
反復数	3区	2区	2区
栽植密度	26.7本/㎡		
畦間	37.5cm		
株間	10cm		
除草剤	エコトップP乳剤(播種後)		
	5月28日	6月27日	7月26日
中耕・培土	なし		
土改剤	粒状苦土石灰(5kg/a)		
基肥	高度化成550(大豆専用) N:P:K＝0.2：0.6：0.8(kg/a)		
病虫害防除 (ドローン散布)	クルーザーMAXX（種子処理）		
	ファンタジスタフロアブル	8月14日	ブランドム乳剤 9月4日
	ブレバゾンフロアブル5	8月14日	スミチオン乳剤 9月4日
	ブランドム乳剤	9月4日	ファンタジスタフロアブル 9月17日
	スミチオン乳剤	9月4日	スタークル液剤10 9月17日

表4 令和6年度供試系統過年度調査成績(東山239号)

栽培 条件	系統名 品種名	試験 年次	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏	蔓化	青立	茎長	最下着	主茎	分枝数	有効	子実重	子実重	百粒重	外観	障害粒			粗タンパク	粗脂肪	全糖	有望度 (案)
						程度 0-5	程度 0-5	程度 0-5	(cm)	莢高 (cm)	節数 (節/本)	(本/株)	莢数 (個/㎡)	(kg/a)	対照比 (%)	(g)	品質 1-7	紫斑病 0-5	褐斑粒 0-5	裂皮 0-5	含有率 (%)	含有率 (%)	含有率 (%)	
標播	東山239号	R2	5/28	8/7	10/21	0.2	0.0	0.0	66	16.8	14.5	9.8	847	26.2	119	31.0	4.2	1	0	0	41.7	21.9	20.6	◇
		R3	5/25	7/29	11/4	0.6	0.0	0.0	97	23.4	17.1	9.2	552	42.4	104	38.9	2.3	0	0	1	45.4	20.1	21.4	◇
		R4	5/25	7/29	10/17	0.7	0.0	0.7	76	22.7	14.7	9.6	689	40.2	170	33.2	4.0	0	0	0	45.4	20.7	19.7	◇
		R5	5/25	7/18	10/30	0.0	0.0	1.0	72	11.4	15.2	10.9	666	37.9	152	32.7	4.7	1	1	1	45.7	20.7	20.9	◇
		R6	5/23	7/21	10/23	0.2	0.0	0.0	89	22.5	17.3	8.5	732	48.1	150	34.3	4.3	0	0	1	46.5	20.7	18.0	○
		平均	5/26	7/27	10/26	0.3	0.0	0.3	80	19.4	15.8	9.6	697	39.0	139	34.0	3.9	0.4	0.2	0.6	44.9	20.8	20.1	
	タンレイ	R2	5/28	8/5	11/3	0.1	0.0	1.3	60	10.3	13.2	8.2	805	22.0	100	30.4	5.5	2	0	1	43.8	20.6	21.7	
		R3	5/25	7/29	11/10	0.9	0.0	1.0	89	18.2	16.8	8.9	647	40.6	100	36.0	4.3	1	0	2	45.1	19.3	22.4	
		R4	5/25	7/31	10/12	0.0	0.0	1.0	59	19.0	14.2	5.8	602	23.7	100	28.8	4.0	0	0	1	42.6	21.0	20.9	
		R5	5/25	7/18	11/6	0.0	0.0	1.0	62	10.4	14.3	9.3	687	24.8	100	26.1	6.7	1	5	1	45.0	20.0	21.9	
		R6	5/23	7/22	10/25	0.0	0.0	3.2	85	16.8	16.8	6.9	740	32.1	100	31.5	5.7	2	1	2	46.2	19.8	19.8	
		平均	5/26	7/28	10/30	0.2	0.0	1.5	71	14.9	15.1	7.8	696	28.6	100	30.6	5.2	1.2	1.2	1.4	44.5	20.1	21.3	
晩播	東山239号	R2	6/25	8/16	10/28	2.5	0.0	0.0	72	20.9	13.9	7.2	743	26.4	93	29.7	4.8	1	0	0	45.8	20.0	21.6	
		R3	6/25	8/9	11/3	0.0	0.0	0.0	87	31.9	12.9	6.0	658	40.3	103	35.3	1.8	0	0	0	46.2	19.7	21.5	
		R4	6/24	8/7	10/20	0.0	0.0	0.0	61	23.4	12.6	7.0	792	42.1	126	33.6	4.5	0	0	0	47.4	19.6	19.4	
		R5	6/27	8/5	10/24	0.0	0.0	0.0	69	14.7	13.5	6.9	697	43.5	136	28.6	5.0	1	1	0	43.3	20.9	20.2	
		R6	6/25	8/7	10/24	0.8	0.0	0.8	84	20.3	14.7	5.8	1095	61.0	111	30.6	4.0	1	1	0	46.2	20.4	18.9	
		平均	6/26	8/9	10/26	0.7	0.0	0.2	75	22.2	13.5	6.6	797	42.7	114	31.6	4.0	0.6	0.4	0.0	45.8	20.1	20.3	
	タンレイ	R2	6/25	8/14	11/3	0.5	0.0	0.0	72	17.8	13.1	5.0	909	28.4	100	28.0	4.8	1	0	1	44.5	19.9	21.8	
		R3	6/25	8/9	11/8	0.8	0.0	0.0	88	20.0	13.6	4.1	745	39.1	100	32.7	4.5	2	0	0	46.1	19.0	22.3	
		R4	6/24	8/9	10/23	0.0	0.0	0.5	47	18.9	12.0	3.9	562	33.5	100	33.0	4.5	0	0	0	45.0	19.9	21.0	
		R5	6/27	8/5	10/26	0.0	0.0	0.0	67	17.2	13.3	4.9	752	32.0	100	23.9	6.0	1	2	0	43.8	20.2	21.5	
		R6	6/25	8/7	10/25	1.0	0.0	1.5	80	10.1	14.4	4.9	1350	54.9	100	28.6	5.5	1	1	1	45.4	19.9	20.6	
		平均	6/26	8/9	10/30	0.5	0.0	0.4	71	16.8	13.3	4.6	864	37.6	100	29.2	5.1	1.0	0.6	0.4	45.0	19.8	21.4	

凡例

倒伏・蔓化・青立程度						障害粒						品質							有望度				
0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	◎	○	◇	△	×
無	微	少	中	多	甚	無	微	少	中	多	甚	上の上	上の中	上の下	中の上	中の中	中の下	下	有望	やや有望	再検討	やや劣る	劣る

表5 令和6年度供試系統過年度調査成績(東北191号)

栽培 条件	系統名 品種名	試験 年次	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏	蔓化	青立	茎長	最下着	主茎	分枝数	有効	子実重	子実重	百粒重	外観	障害粒			粗タンパク	粗脂肪	全糖	有望度
						程度	程度	程度	(cm)	莢高 (cm)	節数 (節/本)	(本/株)	莢数 (個/㎡)	(kg/a)	対照比 (%)	(g)	品質 1-7	紫斑病 0-5	褐斑粒 0-5	裂皮 0-5	含有率 (%)	含有率 (%)	含有率 (%)	(案)
						0-5	0-5	0-5																
標播	東北191号	R2	5/28	8/3	11/8	2.2	0.0	1.5	57	15.3	12.3	10.8	441	23.2	105	34.9	5.5	1	0	1	42.6	21.4	21.5	◇
		R3	5/25	7/28	11/17	0.3	0.0	1.0	83	11.3	15.2	10.4	706	52.8	130	42.2	2.7	1	0	1	46.3	19.6	21.8	◇
		R4	5/25	7/29	10/20	1.0	0.0	0.7	72	18.9	14.4	6.8	564	36.6	161	38.1	4.3	0	0	1	44.4	21.0	20.4	◇
		R5	5/25	7/18	11/10	0.0	0.0	2.3	71	11.3	15.2	10.5	551	21.4	143	36.5	5.7	1	2	2	45.5	19.9	21.7	◇
		R6	5/23	7/22	10/25	0.0	0.0	2.0	92	18.2	16.8	8.5	333	37.3	112	35.0	5.0	0	0	2	46.4	20.0	20.1	○
		平均	5/26	7/27	11/4	0.7	0.0	1.5	75	15.0	14.8	9.4	519	34.3	128	37.3	4.6	0.6	0.4	1.4	45.0	20.4	21.1	
	タチナガハ	R2	5/28	8/5	11/11	1.0	0.0	2.0	73	19.5	14.4	8.9	607	22.1	100	33.6	5.1	1	0	1	41.5	21.6	21.6	
		R3	5/25	7/30	11/20	0.8	0.0	1.0	93	23.3	17.0	8.7	502	40.6	100	45.7	1.8	1	0	1	43.9	19.8	23.2	
		R4	5/25	7/31	10/26	0.0	0.0	0.0	65	20.7	15.1	4.9	428	22.7	100	36.5	4.3	0	0	0	40.5	21.9	21.5	
		R5	5/25	7/19	11/10	0.0	0.7	2.0	75	11.9	15.6	7.8	413	14.9	100	33.2	6.0	0	3	1	43.1	21.2	22.0	
		R6	5/23	7/22	11/2	0.0	0.0	4.3	91	14.7	17.2	11.3	701	33.4	100	38.0	5.0	1	1	2	44.2	20.6	20.4	
		平均	5/26	7/28	11/8	0.4	0.1	1.9	79	18.0	15.9	8.3	530	26.7	100	37.4	4.4	0.6	0.8	1.0	42.6	21.0	21.7	
	東北191号	R2	6/25	8/15	11/16	1.7	0.0	0.0	79	28.3	12.1	6.2	619	25.6	77	36.6	4.5	1	0	1	44.9	20.3	21.4	
		R3	6/25	8/9	11/12	0.8	0.0	1.0	88	25.3	14.0	4.3	739	51.7	92	40.7	1.3	0	0	1	45.8	19.8	22.2	
		R4	6/24	8/7	11/5	0.0	0.0	1.0	70	26.6	13.4	5.2	448	34.2	130	41.8	4.5	0	0	0	45.4	20.2	21.5	
		R5	6/27	8/5	11/6	0.0	0.0	0.0	67	16.3	13.2	4.6	584	35.7	150	32.0	4.5	0	1	1	44.9	20.2	21.1	
		R6	6/25	8/7	11/2	0.3	0.5	2.3	86	19.5	14.1	7.0	821	48.5	67	36.0	5.0	0	1	0	46.0	20.0	20.2	
		平均	6/26	8/9	11/9	0.6	0.1	0.9	78	23.2	13.4	5.5	642	39.1	103	37.4	4.0	0.2	0.4	0.6	45.4	20.1	21.3	
	タチナガハ	R2	6/25	8/15	11/12	1.9	0.0	0.5	86	25.5	13.6	6.5	769	33.1	100	33.3	4.5	1	0	0	42.8	20.3	22.4	
		R3	6/25	8/9	11/18	0.8	0.0	1.0	82	20.0	14.9	5.7	893	56.2	100	44.4	5.0	0	0	0	44.8	19.1	23.3	
		R4	6/24	8/9	10/30	0.0	0.0	1.0	55	23.7	13.1	3.7	413	26.4	100	36.8	5.0	0	0	0	42.7	20.6	21.3	
		R5	6/27	8/6	11/13	0.0	0.0	0.0	72	20.0	14.7	4.8	501	23.7	100	30.2	5.5	0	1	0	41.6	21.0	22.0	
		R6	6/25	8/9	11/18	0.5	0.5	4.0	80	19.0	14.5	8.5	1399	72.9	100	38.3	4.5	0	1	0	44.8	19.9	20.8	
		平均	6/26	8/10	11/12	0.6	0.1	1.3	75	21.6	14.2	5.8	795	42.5	100	36.6	4.9	0.2	0.4	0.0	43.3	20.2	22.0	

凡例

倒伏・蔓化・青立程度						障害粒						品質							有望度				
0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	◎	○	◇	△	×
無	微	少	中	多	甚	無	微	少	中	多	甚	上の上	上の中	上の下	中の上	中の中	中の下	下	有望	やや有望	再検討	やや劣る	劣る

表6 令和6年度供試系統過年度調査成績(関東155号、北陸6号、東北194号)

栽培 条件	系統名 品種名	試験 年次	播種日 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	倒伏	蔓化	青立	茎長	最下着	主茎	分枝数	有効	子実重	子実重	百粒重	外観	障害粒			粗タンパク	粗脂肪	全糖	有望度 (案)
						程度	程度	程度	(cm)	莢高 (cm)	節数 (節/本)	(本/株)	莢数 (個/㎡)	(kg/a)	対照比 (%)	(g)	品質 1-7	紫斑病 0-5	褐斑粒 0-5	裂皮 0-5	含有率 (%)	含有率 (%)	含有率 (%)	
						0-5	0-5	0-5																
標播	関東155号	R5	5/25	7/18	10/23	0.0	0.0	1.0	62	7.5	12.9	11.3	1047	45.1	182	24.3	3.0	1	1	1	43.7	21.1	20.9	◇
		R6	5/23	7/22	10/23	0.1	0.0	3.0	86	14.2	16.1	9.5	1174	51.6	161	29.8	5.3	2	1	2	43.5	21.0	19.3	◇
		平均	5/24	7/20	10/23	0.1	0.0	2.0	74	10.9	14.5	10.4	1111	48.4	172	27.1	4.2	1.5	1.0	1.5	43.6	21.1	20.1	
	タンレイ	R5	5/25	7/18	11/6	0.0	0.0	2.3	62	10.4	14.3	9.3	687	24.8	100	26.1	6.7	1	5	1	45.0	20.0	21.9	
		R6	5/23	7/22	10/25	0.0	0.0	3.2	85	16.8	16.8	6.9	740	32.1	100	31.5	5.7	2	1	2	46.2	19.8	19.8	
		平均	5/24	7/20	10/31	0.0	0.0	2.8	73	13.6	15.6	8.1	714	28.5	100	28.8	6.2	1.5	3.0	1.5	45.6	19.9	20.9	
	関東155号	R5	6/27	8/5	10/23	0.0	0.0	0.0	62	10.8	12.5	6.2	1034	49.1	153	22.1	2.0	1	1	0	40.5	22.8	20.0	
		R6	6/25	8/7	10/29	1.0	0.0	1.0	79	12.1	13.4	7.1	1427	54.5	99	27.5	5.5	1	1	1	42.3	21.3	19.9	
		平均	6/26	8/6	10/26	0.5	0.0	0.5	70	11.5	13.0	6.7	1231	51.8	126	24.8	3.8	1.0	1.0	0.5	41.4	22.1	20.0	
晩播	タンレイ	R5	6/27	8/5	10/26	0.0	0.0	1.5	67	17.2	13.3	4.9	752	32.0	100	23.9	6.0	1	2	0	43.8	20.2	21.5	
		R6	6/25	8/7	10/25	1.0	0.0	1.5	80	10.1	14.4	4.9	1350	54.9	100	28.6	5.5	1	1	1	45.4	19.9	20.6	
		平均	6/26	8/6	10/26	0.5	0.0	1.5	73	13.6	13.9	4.9	1051	43.5	100	26.2	5.8	1.0	1.5	0.5	44.6	20.1	21.1	
	標播 北陸6号	R5	5/25	7/21	11/6	0.0	0.0	0.7	72	10.1	15.9	9.8	782	37.9	254	32.5	5.7	1	1	1	45.5	19.9	21.5	◇
		R6	5/23	7/24	10/24	0.0	0.0	0.7	86	13.6	16.7	5.7	794	42.5	127	33.6	5.0	0	0	2	43.8	20.8	19.4	◇
		平均	5/24	7/23	10/31	0.0	0.0	0.7	79	11.9	16.3	7.8	788	40.2	191	33.1	5.4	0.5	0.5	1.5	44.7	20.4	20.5	
	タチナガハ	R5	5/25	7/19	11/10	0.0	0.7	3.0	75	11.9	15.6	7.8	413	14.9	100	33.2	6.0	0	3	1	43.1	21.2	22.0	
		R6	5/23	7/22	11/2	0.0	0.0	4.3	91	14.7	17.2	11.3	611	33.4	100	38.0	5.0	1	1	2	44.2	20.6	20.4	
		平均	5/24	7/21	11/6	0.0	0.3	3.7	83	13.3	16.4	9.6	512	24.2	100	35.6	5.5	0.5	2.0	1.5	43.7	20.9	21.2	
晩播	北陸6号	R5	6/27	8/6	10/30	0.0	0.0	3.0	63	16.0	13.2	4.5	708	40.4	170	30.0	4.5	0	1	0	43.6	20.6	22.1	
		R6	6/25	8/9	10/29	0.3	0.0	1.5	87	20.0	14.4	2.8	903	48.0	66	36.9	4.5	1	1	1	45.9	20.0	20.1	
		平均	6/26	8/8	10/30	0.2	0.0	2.3	75	18.0	13.8	3.7	806	44.2	118	33.5	4.5	0.5	1.0	0.5	44.8	20.3	21.1	
	タチナガハ	R5	6/27	8/6	11/13	0.0	0.0	3.0	72	20.0	14.7	4.8	501	23.7	100	30.2	5.5	0	1	0	41.6	21.0	22.0	
		R6	6/25	8/9	11/18	0.5	0.5	4.0	80	19.0	14.5	8.5	1399	72.9	100	38.3	4.5	0	1	0	44.8	19.9	20.8	
		平均	6/26	8/8	11/16	0.3	0.3	3.5	76	19.5	14.6	6.7	950	48.3	100	34.2	5.0	0.0	1.0	0.0	43.2	20.5	21.4	
	標播 東北194号	R4	5/25	7/29	10/13	0.0	0.0	0.5	47	11.6	13.3	4.9	818	13.5	57	26.2	3.0	0	0	0	41.6	21.2	20.0	×
		R6(密植)	5/23	7/22	10/24	4.0	2.0	0.0	91	18.6	18.3	3.6	710	46.3	67	27.7	6.0	1	1	2	43.4	20.3	18.9	△
		平均	5/24	7/26	4/19	2.0	1.0	0.3	69	15.1	15.8	4.3	764	29.9	62	27.0	4.5	0.5	0.5	1.0	42.5	20.8	19.5	
晩播	タンレイ	R4	5/25	7/31	10/12	0.0	0.0	1.0	59	19.0	14.2	5.8	602	23.7	100	28.8	4.0	0	0	1	42.6	21.0	20.9	
		R6(密植)	5/23	7/22	10/25	2.3	1.3	0.0	99	11.9	17.7	5.9	898	69.0	100	29.7	5.7	2	1	2	46.2	19.8	19.8	
		平均	5/24	7/27	10/19	1.2	0.7	0.5	79	15.5	16.0	5.9	750	46.4	100	29.3	4.9	1.0	0.5	1.5	44.4	20.4	20.4	
	東北194号	R4	6/24	8/7	10/21	0.0	0.0	0.5	46	14.4	12.7	2.6	728	21.6	64	28.1	4.0	0	0	0	42.8	20.5	21.4	
		R6(密植)	6/25	8/8	10/29	3.5	2.0	1.0	71	14.4	15.5	3.1	829	59.1	110	27.2	5.5	1	0	1	43.8	19.6	19.7	
		平均	6/25	8/8	10/25	1.8	1.0	0.8	58	14.4	14.1	2.9	779	40.4	87	27.7	4.8	0.5	0.0	0.5	43.3	20.1	20.6	
	タンレイ	R4	6/24	8/9	10/23	0.0	0.0	0.5	47	18.9	12.0	3.9	562	33.5	100	33.0	4.5	0	0	0	45.0	19.9	21.0	
		R6(密植)	6/25	8/8	10/30	3.5	2.0	1.8	85	10.7	15.5	3.2	701	53.6	100	28.9	5.0	1	0	1	45.4	19.9	20.6	
		平均	6/25	8/9	4/27	1.8	1.0	1.2	66	14.8	13.8	3.6	632	43.6	100	31.0	4.8	0.5	0.0	0.5	45.2	19.9	20.8	

凡例						障害粒						品質							有望度				
倒伏・蔓化・青立程度																							
0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	◎	○	◇	△	×
無	微	少	中	多	甚	無	微	少	中	多	甚	上の上	上の中	上の下	中の上	中の中	中の下	下	有望	やや有望	再検討	やや劣る	劣る

令和6年度主要農作物品種審査会

大 豆

審 議 事 項

令和7年2月

宮城県

大豆優良品種「すずほのか」を廃止することについて

1 廃止しようとする品種名、優良品種区分及び採用年次

「すずほのか」（特定品種、平成20年採用）

2 大豆優良品種「すずほのか」について

「すずほのか」は、平成4年に東北農業試験場（現、農研機構東北農業研究センター）において、ダイズモザイクウイルス抵抗性で倒伏抵抗性に優れる納豆用極小粒大豆を目標に育成された品種である。本県では平成20年の奨励品種採用以降、JA みやぎ仙南管内を中心に作付けされており、令和6年播種用種子の供給先は約9割がJA みやぎ仙南、残り約1割がJA みやぎ登米であった。

JA みやぎ仙南では、納豆センターで納豆に加工し、量販店等へ販売を行ってきたが、近年「すずほのか」の収量が低迷し、生産者が収益確保をできないことから、令和7年産からの生産中止をJA として決定し、令和6年3月、取引先等に事情説明を行った。

併せて、JA みやぎ仙南管内に「すずほのか」の採種ほが設置されていたことから、同JA は一般栽培と同時に種子生産を中止する方針について、JA みやぎ登米に説明し、理解が得られたことから、種子生産も令和6年からとりやめた。

したがって、今後種子供給の見込みがないことから、優良品種の廃止について提案するもの。

3 廃止する根拠

宮城県優良品種決定基準の2（3）及び（5）により廃止とする。

（参考）

◆宮城県優良品種決定基準（令和2年9月18日決定）の一部抜粋

2 優良品種の廃止基準

知事は、優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは、当該優良品種を廃止することができる。

（1）優良品種の特性が変化し、1の基準を満たさなくなった場合

（2）普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要とされる特性に関し、重大な欠点が見明らかになった場合

（3）当該品種に係る作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない場合

（4）新たな優良品種によって代替が可能である場合

（5）当該品種の種子の供給が困難となった場合

4 廃止しようとする品種の作付面積の推移

年次	大豆作付面積 県計（ha）	すずほのか		
		作付面積（ha）	作付比率（％）	種子配付実績（kg）
令和2年	10,800	108	1.0	1,530
令和3年	11,000	99	0.9	1,380
令和4年	11,900	106	0.9	2,220
令和5年	11,700	94	0.8	2,550
令和6年	11,600	72	0.6	990

令和7年度優良品種決定調査に供する品種（大豆）について（案）

1 優良品種として要望される品種（大豆）

良質多収で機械による収穫適性及びタンパク含量が高く、加工適性に優れた以下の特性を有する品種。

イ 晩播栽培に適する品種。

ロ ダイズシストセンチュウ抵抗性が強い品種。

ハ 「タンレイ」より紫斑病抵抗性が強い品種。

2 供試品種及び系統

区分	早晩性	基本調査（供試年数）			現地調査
		予備調査	本調査	要望される 品種	
普 通	中生早		関東 155 号（2）	イ	関東 155 号（1）
	中生	（標）タンレイ			
	中生晩		北陸 6 号（2）	イ	北陸 6 号（1）
			東北 197 号（1）	イ、ロ	
		（標）タチナガハ			
	（比）ミヤギシロメ、（比）すずみのり				
計		（未確定）	3		2

注1）（標）：標準品種（対照）を示す。

注2）（比）：比較品種を示す。

注3）予備調査の供試系統は、令和7年3月末頃に確定する見込み。

令和7年度大豆優良品種決定調査供試系統の特性概要

本調査

○収量、品質は令和6年度調査結果

●育成地の評価・特記事項

系統名	供試 年数	対照 品種	要望 品種	交配組合せ	特性の概要
関東 155 号	2	タンレイ	イ	作系 176 ／ Santee	○成熟期がやや早い。 ○標播の収量が多い。 ●SMV 抵抗性(AA2BCD) ●難裂莢性を有する。 令和7年度は栽培特性の年次変動、加工適性 および現地での適応性について検討。
北陸 6 号	2	タチナガハ	イ	里のほほえみ ／ 作系 99 号	○成熟期が早い。 ○標播の収量が多い。 ●SMV 抵抗性(AA2B)。 ●難裂莢性を有する。 令和7年度は栽培特性の年次変動、加工適性 および現地での適応性について検討。
東北 197 号	1	タチナガハ	イ ・ ロ	里のほほえみ ／ 作系 176 号	○成熟期が早い。 ○標播の収量がやや多い。 ●SMV 抵抗性(ABCD)。 ●SCN 抵抗性“強”。 ●難裂莢性を有する。 令和7年度は栽培特性の年次変動について検 討。

注) SMV:ダイズモザイクウイルス 大豆に感染するウイルス病の一種。A、A2、B、C、D、E の6つの系統がある。

SCN:ダイズシストセンチュウ 大豆を加害するセンチュウの一種。

予備調査

●育成地の評価

系統名	要望 品種	交配組合せ	特性の概要
未確定			

参 考 資 料

目 次

I	宮城県優良品種決定基準	2
II	宮城県主要農作物優良品種区分基準	3
III	宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について	4
IV	宮城県主要農作物の基幹品種、特定品種の区分	5
V	優良品種決定調査の方法 (宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))	6
VI	宮城県優良品種決定調査方法	7
VII	主要農作物種子条例	9
VIII	主要農作物品種審査会構成員名簿	11
IX	優良品種特性表(水稻)	12
X	優良品種特性表(大豆)	13
X I	優良品種特性表(麦類)	14
X II	水稻優良品種の年次別作付面積	15
X III	大豆優良品種の年次別作付面積	16
X IV	麦類優良品種の年次別作付面積	17

I 宮城県優良品種決定基準

(令和2年9月18日決定)

1 優良品種の採用基準

知事は、優良品種に採用する場合には、おおむね次の基準のいずれかを満たしている品種のうち、普及上特に支障となる欠点のないものの中から選択するものとする。

(1) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し，既存の優良品種（以下「対照品種」という。）と比較して明らかに優れていると認められること。ただし，優良品種に採用しようとする品種が，普及対象地域の範囲又は生産物の用途について制限のある場合を妨げない。

(2) 収量，病虫害抵抗性，品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて，対照品種と比較して明らかに優れていると認められること。

2 優良品種の廃止基準

知事は、優良品種採用後次のいずれかに該当すると認められるときは、当該優良品種を廃止することができる。

(1) 優良品種の特性が変化し，1の基準を満たさなくなった場合

(2) 普及対象地域で栽培上重要とされる特性又は生産物の利用上重要とされる特性に関し，重大な欠点が明らかになった場合

(3) 当該品種に係る作付面積が著しく減少し，今後とも増加の見通しがない場合

(4) 新たな優良品種によって代替が可能である場合

(5) 当該品種の種子の供給が困難となった場合

Ⅱ 宮城県主要農作物優良品種区分基準

(令和 2 年 9 月 18 日決定)

(目的)

- 1 本県が推奨する主要農作物品種(水稻・麦類・大豆)を基幹品種及び特定品種の 2 区分とし、適地適品種の作付を推進する。

(名称区分)

- 2 優良品種は次の名称に区分する。

(1) 基幹品種

生産・流通対策上、基幹となる品種

(2) 特定品種

基幹品種を補完する品種

(区分基準)

- 3 品種の構成は、基幹品種を熟期別に設定し、さらに、これを補完する特定品種を配することとする。

採用については、「宮城県優良品種決定基準」(令和 2 年 9 月 18 日決定)「優良品種の採用基準」1 に定めるもののほか、下記の項目に照らし総合的に勘案して決定する。

(1) 基幹品種

生産、流通対策上、基幹となる品種として生産振興を図る必要のある品種

(2) 特定品種

ア 特定の気象・土壌条件に栽培が適している品種

イ 特定の用途に対し、一定量の需要が見込まれる品種

ウ 作業体系及び各種危険分散の要求を満たす品種

エ 生産者並びに消費者ニーズ等が特に強い品種

オ 暫定的に普及が望まれる品種

Ⅲ 宮城県主要農作物基幹・特定品種の移行・廃止等の基準について(内規)

(令和2年9月18日決定)

主要農作物(水稻・麦類・大豆)基幹・特定品種の採用・廃止については「宮城県優良品種決定基準」及び「宮城県主要農作物優良品種区分基準」に定めるもののほか、以下により行うものとする。

1 すでに普及している品種(県優良品種以外のもの)の取り扱いについて

過去3ヶ年、概ね下記面積を超えて安定的に栽培されている品種については、優良品種決定調査に供試することを検討する。

なお、これまで優良品種決定調査に参考品種等として供試し、特性が明らかになっている品種については、既存データを活用し、検討することができるものとする。

水 稻	麦 類	大 豆
2 0 0 ha	1 0 0 ha	1 0 0 ha

2 基幹・特定品種の移行について

(1) 特定品種から基幹品種への移行について

特定品種のうち、下記面積を上回り、生産・流通対策上、特に必要とされるものについては、基幹品種への移行を検討する。

(2) 基幹品種から特定品種への移行について

基幹品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、特定品種への移行を検討する。

作物名	面 積	備 考
水 稻	2 0 0 ha	類別区分の指定基準数量1,000tによる
麦 類	2 0 0 ha	銘柄区分Ⅱの基準数量500t以上による
大 豆	3 0 0 ha	1 銘柄販売ロット500 t 以上

3 基幹・特定品種の廃止について

基幹・特定品種に採用されてから3年間連続して概ね下記面積を下回っており、今後増加の見込みのないものは、廃止を検討する。

水 稻	麦 類	大 豆
1 0 0 ha	5 0 ha	5 0 ha

4 その他

上記以外に必要な事項については、主要農作物品種審査会において検討を行うものとする。

Ⅳ 宮城県主要農作物の基幹品種、特定品種の区分

1 水稻

	基幹品種	特定品種
早 生	やまのしずく	ゆきむすび(低アミロース米)
中 生	ひとめぼれ, ササニシキ, まなむすめ, だて正夢	トヨニシキ, げんきまる, 東北194号, 金のいぶき
晩 生	—	コシヒカリ, つや姫
も ち	みやこがねもち	ヒメノモチ, こもちまる
特 殊 用途米	蔵の華(酒造好適米)	たきたて(低アミロース米)

2 麦類

(1) 小 麦

	基幹品種	特定品種
中 生	シラネコムギ, 夏黄金	あおばの恋

(2) 大 麦

	基幹品種	特定品種
早 生	シュンライ, ホワイトファイバー	—
中 生	ミノリムギ	—

3 大豆

	基幹品種	特定品種
中 生	タンレイ, あやこがね	すずほのか, タチナガハ, きぬさやか, すずみのり
晩 生	ミヤギシロメ	—

V 優良品種決定調査の方法

(宮城県主要農作物優良品種決定調査要領(令和2年4月1日施行))

1 調査対象品種

(1) 優良品種決定調査(以下「調査」という。)の対象となる品種は、次のすべての要件を満たすものの中から主要農作物品種審査会の調査審議を経て決定するものとする。

ア 調査に支障のない程度に品種の固定が進んでいること。

イ 調査に必要な種子が十分に供給されること。

ウ 県が定めた病虫害抵抗性その他の主要な特性について、検定により明らかにされていること。

エ 県の既存の優良品種との比較栽培試験等により、改善された点が認められること。

(2) (1)の品種の育成者は、調査を受けようとする品種について、(1)のアからエまでの事項に関する資料を添えて県に次に掲げる期日までに申請を行うものとする。ただし、あらかじめ県と協議して別の期日を設けた場合には、この限りではない。

稲及び大豆 12月末日

麦類 7月末日

2 調査の期間

(1) 調査の期間は、原則として3年とする。ただし、3年未満の調査であっても他の都道府県その他の機関の調査結果から調査対象品種の特性が明らかな場合又は県が必要と認める場合には、この期間を短縮することができる。

(2) 基本調査は、調査対象品種の特性を明らかにするため、第1年目に予備調査、第2年目以降に本調査を行う。ただし、当該品種の特性が明らかな場合又は県が必要と認める場合には、予備調査を省略することができる。

(3) 現地調査は、基本調査の予備調査が終了してから行う。

3 調査に用いる品種

調査には、次の品種を含めなければならない。

(1) 標準品種

原則として生産・流通対策上基幹となる優良品種として県内に普及しており、調査対象品種の比較対象の基準となる品種

(2) 比較品種

特定の形質を比較するための品種

Ⅵ 宮城県優良品種決定調査方法

(令和2年9月18日決定)

- 1 品種の育成者が優良品種決定調査を受けようとする品種について、検定により明らかにしておくべき特性

農作物 の種類	特性の項目
稲	出穂期, 成熟期, 稈長, 穂長, 精玄米重, 玄米千粒重, 品質, 食味, 病虫害抵抗性(葉いもち, 穂いもち, 紋枯病等), 障害抵抗性(耐冷性, 高温登熟耐性, 耐 倒伏性, 穂発芽性等), 実需者の評価
麦 類	出穂期, 成熟期, 播性程度, 稈長, 穂長, 子実重, 容積重, 千粒重, 品質, 穂発芽性, 加工適正(製粉性, 粉色, 精麦白度等), 病虫害抵抗性(赤さび病, うどんこ病, 赤かび病), 障害抵抗性(耐倒伏性, 耐寒雪性), 実需者の評価
大 豆	開花期, 成熟期, 主茎長, 分枝数, 子実重, 有粒重, 種皮色, 光沢, 品質, 病虫害抵抗性(ウイルス病, 立枯性病害, 紫斑病, センチュウ), 障害抵抗性耐倒伏性, 裂皮の難易), 実需者の評価

2 優良品種決定調査の耕種概要の基準

調査の種類		農作物 の種類	区 制		耕種法の種類
			1 区面積	区 数	
基 本 調 査	予 備	稲	6 m ² 以上	2 区	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本 県に最も普及している耕種様式により調査を行 う。
	調 査	麦 類	10m ² 以上	以上	
		大 豆	12m ² 以上		
調 査	本調査	稲 麦	6 m ² 以上	3 区	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 本 県に最も普及している耕種様式を原則として複 数用いて調査を行う。
		類大 豆	10m ² 以上 12m ² 以上	以上	
現地調査		稲 麦	20m ² 以上	2 区	作期, 施肥水準, 移植, 播種の方法等について, 優 良品種適応地域ごとに最も普及している耕種様 式により調査を行う。
		類大 豆		以上	

3 優良品種決定調査の調査項目の基準

調査の種類		調 査 の 項 目
基本調査	予備調査	1 稲 播種期, 移植期(直播の場合は入水期), 出穂期, 成熟期, 発芽の良否(直播又は陸稲の場合に限る。), 稈長, 穂長, 穂数, 全重, 玄米収量, 標準品種と玄米収量の比較比率, 玄米千粒重, 玄米品質, 倒伏程度, 病害虫, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質 2 麦類 播種期, 出穂期, 成熟期, 発芽の良否, 稈長, 穂長, 穂数, 子実収量, 千粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病害虫, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質 3 大豆 播種期, 開花期, 成熟期, 発芽の良否, 茎長, 分枝数, 子実収量, 百粒重, 子実品質, 倒伏程度, 病害虫, 気象災害その他の障害に対する抵抗性, 有望度及び有利又は不利とした形質
	本調査	1 稲 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 心白又は腹白の多少, 搗精歩合及び食味 2 麦類 予備調査の項目に次の項目を追加する。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 容積重及び子実加工品の品質 3 大豆 予備調査の項目に同じ。ただし, 環境変化を受け難い項目は省略することができる。 子実加工品の品質
	現地調査	1 稲 基本調査の予備調査の項目に同じ。 2 麦類 基本調査の予備調査の項目に同じ。 3 大豆 基本調査の予備調査の項目から, 分枝数を除いたもの。

Ⅶ 主要農作物種子条例

[令和元年宮城県条例第 59 号]

第三章 主要農作物品種審査会

(設置)

第十八条 知事の諮問に応じ、優良品種に関する重要事項を調査審議するため、主要農作物品種審査会（以下「審査会」という。）を置く。

(所掌事務)

第十九条 審査会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- 一 優良品種の決定基準に関する事項
- 二 優良品種決定調査に供される品種に関する事項（当該品種に係る優良品種決定調査の継続及び中止に関することを含む。）
- 三 優良品種決定調査の方法に関する事項
- 四 優良品種の決定及び廃止に関する事項
- 五 その他優良品種に関し必要な事項

(組織等)

第二十条 審査会は、委員十人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が任命する。

- 一 学識経験を有する者
- 二 関係団体の役員又は職員
- 三 関係行政機関の職員
- 四 県の職員

3 前項第一号に掲げる者のうちから任命される委員の任期は、二年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第二十一条 審査会に、会長一人及び副会長二人を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐するとともに、会長があらかじめ定めた順序により、会長に事故があるときはその職務を代理し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(会議)

第二十二条 審査会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審査会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審査会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(幹事)

第二十三条 審査会に、幹事を置き、県の職員のうちから、知事がこれを任命する。

2 幹事は、審査会の所掌事務について、委員を補佐する。

(会長への委任)

第二十四条 この章に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、会長が審査会に諮って定める。

Ⅷ 主要農作物品種審査会構成員名簿（令和6年9月）

役 職 名	氏 名	所属及び職名
会 長	本間 香貴	東北大学大学院農学研究科作物学研究室 教授
副会長	佐々木 利幸	全国農業協同組合連合会宮城県本部 米穀部長
〃	高橋 久則	公益社団法人みやぎ農業振興公社 常務理事
委 員	大川 亘	尚絅学院大学総合人間科学系理工・自然部門 准教授
〃	鳥羽 大陽	宮城大学食産業学群食資源開発学類 准教授
〃	高橋 清範	一般社団法人宮城県農業会議 副会長
〃	石川 宣子	宮城県生活協同組合連合会 常務理事
〃	大崎 早苗	宮城県農業士会 宮城県指導農業士
〃	阿部 祐子	仙台市経済局農業振興課 課長
〃	常陸 孝一	宮城県農政部 副部長（技術担当）
幹 事	關口 道	宮城県農政部 みやぎ米推進課長
〃	佐藤 潤一	宮城県農政部食産業振興課 総括課長補佐
〃	門間 陽一	宮城県農政部農業振興課 技術副参事兼総括課長補佐
〃	滝澤 浩幸	宮城県古川農業試験場 作物育種部長
〃	小高 勝範	宮城県古川農業試験場 作物栽培部長

X I 優良品種特性表（麦類）

(供試年次:令和元～令和5年)

イ 小麦

早晩性	品種名	来歴 (育成場所、育成年)	品 種 区 分	採 用 年 次	出 穂 期 月 日	成 熟 期 月 日	穂 長 (cm)	穂 当 た り 穂 数	芒 の 長 短	株 の 開 閉	穂 発 芽 性	秋 脱 粒 性	原 麦			品質(60%粉)			諸抵抗性					概 要
													千 粒 重 (g)	容 積 重 (g/L)	10 a 当 た り 取 量	粗 蛋 白 含 有 率 (%)	灰 分 (%)	色 相	外 観 品 質	赤 か び 病 抗 性	うどんこ 病 抗 性	凍 害 耐 性	耐 倒 伏 性	
早 生	あおはの恋	(関東105号×Veery's)×西海171号 (農業研究所、平20)	特 定	平 20	4. 27	6. 16	74	7. 4	486	や や 長	か な り 難	Ⅱ	42. 8	836	10. 1	0. 71	80	中 上	や や 弱	や や 弱	—	—	中	早生。中稈で耐倒伏性は中。製粉歩留まりが高く、アミロース含量がやや低く製麺適性が優れる。
中生の早	シラネコムギ	北陸49号×東海80号 (長野農試、昭61)	基 幹	平 元	5. 1	6. 18	79	7. 5	419	中 閉	難	Ⅳ	42. 6	838	9. 9	0. 53	81	中 上	や 中	や 中	や 中	強	強	中稈・強稈で草型も良く、耐寒雪性は強。穂発芽性は難。加工適性が高く、麵用粉として食味も良好である。
中生の早	夏黄金	((関東123号×東北214号)×(関東123号×東北209号))×もち盛京C-3170a (東北農研セン、平28)	基 幹	平 28	5. 2	6. 18	77	8. 1	462	や 極 短	難	Ⅴ	40. 6	843	10. 2	0. 44	83	中 上	中 中	中 中	強 強	強	強	中稈・強稈で耐倒伏性は強。凍上雪抵抗性、耐寒性は強。穂発芽性は難。赤かび病抵抗性は中。製パン適性が高く、中華麵にも適する。

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(令和元～令和5年) *印の特性は「小麦種苗特性分類」(農林水産省)による。

注2) 品質 (60%粉) のデータは、令和5年度の調査結果による。

ロ 大麦

早晩性	品 種 名	来 歴 (育成場所、育成年)	品 採 種 用 区 年 分 次	出 穂 總 期 月 日	成 熟 期 月 日	穂 長 (cm)	穂 当 たり 總 長 穂 数 (本)	芒 の 長 短	株 発 芽 性	秋 脱 粒 性	容 積 重 (g/L)	原 麦				品 質				諸 低 抗 性					概 要
												千 粒 重 (g)	容 積 重 (g/L)	10 a 当 たり 取 量 (kg)	硝 子 率 (%)	55 % 搗 精 白 度	炊 飯 白 度	外 観 品 質	* さび病	* うどんこ病	* 赤かび病	* 凍上抵抗性	* 凍害耐性	* 耐倒伏性	
早 生	シェンライ	シ/44* × 東山皮68号 (長野農試、平2)	基 幹 3	4. 21	6. 2	92	3. 9	483	や 閉 易	中	I	37. 8	691	577	42. 2	47. 2	37	中	や 弱	や 弱	や 中	や 中	強	中稈・強稈で草型も良く耐倒伏性強。赤かび病、うどんこ病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は中。	
中生の早	ホワイトファイバー	東山系籾37号×東山皮96号 (長野農試、平27)	特 定 28	4. 22	6. 4	92	4. 2	486	中 中	中	I	36. 9	690	595	19. 5	49. 7	34	中	や 中	や 中	や 中	や 中	強	中稈で耐倒伏性はやや強。赤かび病にやや弱く、耐寒性はやや強、耐雪性は強。もち性。	
中 生	ミノリムギ	東山皮1号×コガシノハ* (長野農試、昭44)	基 幹 44	4. 25	6. 5	102	4. 1	512	や 中 易	や 中 易	IV V	36. 8	700	639	42. 1	48. 6	35	中	中 中	中 中	中 中	中 中	強 強	多収、長稈で株がやや開き、耐倒伏性はやや強。赤かび病は中。耐寒性・耐雪性は強。	

注1) 特性表のデータは優良(奨励)品種決定調査(令和元～令和5年、ただし「ホワイトファイバー」は平成29年、令和2～5年)、*印の特性は「大麦種苗特性分類」(農林水産省)による。

注2) 品質の秋飯白度のデータは平成26～30年度の調査結果による。

X II 水稻優良品種の年次別作付面積

年 次		令和元年産				令和2年産				令和3年産				令和4年産				令和5年産				令和6年産			
品 種	項 目	作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合				
			A	B		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B			
うるち	やまのしずく	34	0.1%	0.1%	36	0.1%	0.1%	8	0.01%	0.014%	32	0.1%	0.1%	4	0.01%	0.01%	35	0.07%	0.07%						
	ササニシキ	3,447	6.1%	5.9%	3,479	6.0%	5.9%	3,933	6.8%	6.7%	3,872	7.0%	6.8%	4,266	7.7%	7.6%	4,099	8.1%	7.9%						
	ひとめぼれ	43,887	77.1%	75.0%	43,988	75.8%	74.0%	42,509	73.7%	71.9%	40,189	72.8%	71.0%	38,805	70.4%	68.7%	36,002	71.4%	69.4%						
	まなむすめ	2,532	4.4%	4.3%	2,941	5.1%	4.9%	2,895	5.0%	4.9%	3,246	5.9%	5.7%	3,425	6.2%	6.1%	2,555	5.1%	4.9%						
	だて正夢	608	1.1%	1.0%	841	1.4%	1.4%	860	1.5%	1.5%	663	1.2%	1.2%	741	1.3%	1.3%	732	1.4%	1.4%						
	げんきまる	983	1.7%	1.7%	1,046	1.8%	1.8%	1,105	1.9%	1.9%	1,032	1.9%	1.8%	1,190	2.2%	2.1%	670	1.3%	1.3%						
	トヨニシキ	114	0.2%	0.2%	102	0.2%	0.2%	122	0.2%	0.2%	42	0.1%	0.1%	41	0.1%	0.1%	55	0.1%	0.1%						
	コシヒカリ	573	1.0%	1.0%	580	1.0%	1.0%	543	0.9%	0.9%	464	0.8%	0.8%	425	0.8%	0.8%	440	0.9%	0.8%						
	つや姫	4,085	7.2%	7.0%	4,378	7.5%	7.4%	5,008	8.7%	8.5%	4,966	9.0%	8.8%	5,257	9.5%	9.3%	5,386	10.7%	10.4%						
	東北194号	232	0.4%	0.4%	220	0.4%	0.4%	251	0.4%	0.4%	178	0.3%	0.3%	194	0.4%	0.3%	294	0.6%	0.6%						
	蔵の華	153	0.3%	0.3%	172	0.3%	0.3%	162	0.3%	0.3%	103	0.2%	0.2%	120	0.2%	0.2%	119	0.2%	0.2%						
	ゆきむすび	61	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	63	0.1%	0.1%	71	0.1%	0.1%	79	0.1%	0.1%	38	0.1%	0.1%						
	たきたて	37	0.1%	0.1%	35	0.1%	0.1%	30	0.1%	0.1%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	27	0.1%	0.1%						
	金のいぶき	156	0.3%	0.3%	117	0.2%	0.2%	212	0.4%	0.4%	349	0.6%	0.6%	567	1.0%	1.0%	0	0.0%	0.0%						
	その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%						
	もち	計	56,902	100%	97.2%	57,994	100%	97.6%	57,701	100%	97.6%	55,205	100%	97.6%	55,110	100%	97.6%	50,450	100%	97.3%					
ヒメノモチ		53	3.2%	0.1%	22	1.5%	0.04%	30	2.1%	0.05%	18	1.3%	0.03%	14	1.0%	0.02%	13	0.9%	0.02%						
みやこがねもち		1,577	95.8%	2.7%	1,412	97.5%	2.4%	1,344	96.7%	2.3%	1,330	97.9%	2.4%	1,331	98.0%	2.4%	1,364	98.2%	2.6%						
こちまる		16	1.0%	0.0%	15	1.0%	0.02%	16	1.2%	0.03%	11	0.8%	0.02%	14	1.0%	0.02%	13	0.9%	0.03%						
合 計	計	1,645	100%	2.8%	1,448	100%	2.4%	1,389	100%	2.4%	1,359	100%	2.4%	1,358	100%	2.4%	1,390	100%	2.7%						
	計	58,547	—	100%	59,442	—	100%	59,090	—	100%	56,564	—	100%	56,468	—	100%	51,839	—	100%						

(面積:ha)

注1) 作付割合のAは、うるち及びもち種別の作付面積割合。Bはうるち及びもち種合計の作付面積割合。

2) 平成18年以降の作付面積は、種子供給量（公益社団法人みやぎ農業振興公社原種苗部）を面積換算（4kg/10a）した。合計面積は東北農政局統計部発表とは一致しない。

XⅢ 大豆優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年 次	令和元年産		令和2年産		令和3年産		令和4年産		令和5年産		令和6年産			
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	作付面積 (ha)	作付割合 (%)		
大豆	品 種 項 目	ミヤギシロメ	5,137	46.7%	5,076	47.0%	5,556	50.5%	5,984	50.3%	6,049	51.7%	6,474	55.3%
		タンレイ	2,640	24.0%	2,700	25.0%	2,288	20.8%	2,289	19.2%	2,036	17.4%	1,693	14.5%
		タチナガハ	2,695	24.5%	2,462	22.8%	2,607	23.7%	3,084	25.9%	3,112	26.6%	2,742	23.4%
		あやこがね	198	1.8%	199	1.8%	153	1.4%	135	1.1%	129	1.1%	147	1.3%
		きぬさやか	77	0.7%	113	1.0%	102	0.9%	107	0.9%	107	0.9%	79	0.7%
		すずほのか	110	1.0%	110	1.0%	99	0.9%	106	0.9%	94	0.8%	72	0.6%
		すずみのり									35	0.3%	263	2.2%
		その他	143	1.3%	140	1.3%	195	1.8%	195	1.6%	164	1.4%	129	1.1%
合 計	11,000	100%	10,800	100%	11,000	100%	11,900	100%	11,700	100%	11,700	99%		

注) 作付面積は農林水産省作物統計資料とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率をもとに算出。

XIV 麦類優良品種の年次別作付面積

(面積:ha, 割合:%)

年 次		令和元年産				令和2年産				令和3年産				令和4年産				令和5年産				令和6年産			
品 種	項 目	作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合		作付 面積	作付割合				
			A	B		A	B		A	B		A	B		A	B		A	B						
大麦	ミノリムギ	290	25.0%	12.7%	211	18.2%	9.3%	275	21.5%	11.5%	295	20.9%	12.3%	262	18.1%	10.0%	251	17.3%	9.6%						
	シュンライ	660	56.9%	28.8%	675	58.2%	29.9%	527	41.2%	22.1%	495	35.1%	20.6%	505	34.8%	19.3%	477	32.9%	18.3%						
	ホワイトファイバー	179	15.4%	7.8%	247	21.3%	10.9%	431	33.7%	18.0%	569	40.4%	23.7%	648	44.7%	24.8%	699	48.2%	26.8%						
	その他	31	2.7%	1.4%	27	2.3%	1.2%	47	3.7%	2.0%	51	3.6%	2.1%	36	2.5%	1.4%	53	3.7%	2.0%						
	計	1,160	100%	50.7%	1,160	100%	51.3%	1,280	100%	53.6%	1,410	100%	58.7%	1,450	100%	55.6%	1,450	102%	55.6%						
小麦	シラネコムギ	728	64.4%	31.8%	603	54.8%	26.7%	582	52.4%	24.4%	476	47.9%	19.8%	571	49.2%	21.9%	482	41.6%	18.5%						
	夏黄金	261	23.1%	11.4%	363	33.0%	16.1%	406	36.6%	17.0%	435	43.8%	18.1%	500	43.1%	19.2%	608	52.4%	23.3%						
	あおばの恋	124	11.0%	5.4%	116	10.5%	5.1%	105	9.5%	4.4%	64	6.4%	2.7%	63	5.4%	2.4%	68	5.9%	2.6%						
	その他	10	0.9%	0.4%	16	1.5%	0.7%	17	1.5%	0.7%	19	1.9%	0.8%	27	2.3%	1.0%	22	1.9%	0.8%						
	計	1,130	100%	49.3%	1,100	100%	48.7%	1,110	100%	46.4%	994	100%	41.3%	1,160	100%	44.4%	1,160	102%	44.4%						
合 計		2,290	100%	100%	2,260	100%	100%	2,390	100%	100%	2,404	100%	100%	2,610	100%	100%	2,610	100%	100%						

注1) 作付割合のAは、大麦及び小麦別の作付面積割合。Bは大麦及び小麦合計の作付面積割合。

注2) 平成18年以降の作付面積は、農林水産省「作物統計」(面積)とみやぎ米推進課で調査した品種構成比率(播種状況調査)を基に算出。

令和 6 年度 水稻優良品種決定調査成績

令和 7 年 2 月 3 日
古川農業試験場作物育種部

1 水稻優良品種決定調査について

優良品種決定調査の流れ

区分	1年目	2年目	3年目
基本調査	<u>予備調査</u>		
		<u>本調査</u>	<u>本調査</u>
現地調査		現地調査	現地調査



原則として3年間実施

2 供試系統とその狙い（本調査）

イ 既存の優良品種を上回る特性を持ち、主力となりうる品種

品種・系統	区分
東北233号	(イ) 極良質、良食味で他県の銘柄に対抗する品種 ※ 高温登熟耐性も検討
福島64号	
東北241号	
東北238号	
越南311号	(ロ) 「コシヒカリ」、「つや姫」以降の熟期で、極良質・極良食味の晩生品種。
東北239号	
東北243号	(ハ) 既存の優良品種に、生産者・消費者・実需者等のニーズに適応する望ましい特性を付与した品種。 ※ Cd低吸収性

3 供試系統とその狙い（本調査） 続き

□ 中食・外食等の業務用ニーズに対応する品種

品種・系統	区分
山形160号	(イ) 業務用に対応する品質・食味を持ち、収量性に優れた品種
秋田133号	
東北239号 ※再掲	(ロ) チルド加工適性の高い低アミロース品種

4 調査の成績（本調査） 調査終了、打ち切り

1 特性把握につき調査を終了するもの

品種・系統	累年調査概評
福島64号	・「ひとめぼれ」と比較して、出穂期が3日遅いやや晩生。収量は標肥で103%、多肥で104%。外観品質はやや優る。食味は同程度。
東北241号	・「ひとめぼれ」と比較して、出穂期が2日遅い中生。収量は標肥で99%、多肥で102%。外観品質は同程度。食味は同程度。
東北238号	・「つや姫」と比較して、出穂期が2日遅い晩生。収量は標肥で100%、多肥で101%。外観品質は同程度。食味は同程度。千粒重やや大きい。

2 調査を打ち切るもの

品種・系統	短所
東北243号	「ひとめぼれ」と比較して、収量は標肥で93%、多肥で92%。
秋田133号	「ひとめぼれ」と比較して、外観品質やや劣る、食味やや劣る。
越南311号	「つや姫」と比較して、収量は標肥で97%、多肥で95%。

5 調査の成績（本調査） 次年度継続調査

1 本調査を複数年実施しているもの

品種・系統	累年調査概評及び取扱い
東北233号	・「ひとめぼれ」と比較して、出穂期が1日遅い中生。収量は標肥で105%、多肥107%。外観品質は同程度。食味は同程度。 ・高温登熟による品質低下の影響を調査するため調査継続。
東北239号	・「つや姫」と比較して、出穂期が3日遅い晩生。収量は標肥で100%、多肥で101%。外観品質は同程度。「だて正夢」との比較で食味は同程度。千粒重やや大きい。 ・加工適性を調査するため基本調査のみ継続。

2 本調査 1 年目のもの

品種・系統	長所	短所
山形160号	・「やまのしずく」と比較して、収量は標肥で104%、多肥で106%。	なし。

6 供試系統とその狙い（予備調査）

イ 既存の優良品種を上回る特性を持ち、主力となりうる品種

品種・系統	区分
東北246号	(イ) 極良質、良食味で他県の銘柄に対抗する品種 ※ 高温登熟耐性も検討
山形165号	
山形158号	(ロ) 「コシヒカリ」、「つや姫」以降の熟期で、極良質・極良食味の晩生品種。
福島66号	
東北245号	(ハ) 既存の優良品種に、生産者・消費者・実需者等のニーズに適応する望ましい特性を付与した品種。 ※ いもち病抵抗性

7 供試系統とその狙い（予備調査） 続き

□ 中食・外食等の業務用ニーズに対応する品種

品種・系統	区分
奥羽451号	(イ) 業務用に対応する品質・食味を持ち、収量性に優れた品種 ※ 奥羽451号は早生、その他は中生。
岩手159号	
秋田135号	
奥羽454号	

8 調査の成績（予備調査）

1 調査を打ち切るもの

品種・系統	短所
奥羽451号	出穂期やや遅い。
秋田135号	外観品質劣る。

2 本調査に供試するもの

品種・系統	長所
岩手159号	収量優る。外観品質やや優る。千粒重大きい。
奥羽454号	収量、外観品質優る。
東北245号	収量優る。
東北246号	収量優る。外観品質やや優る。
山形165号	収量、外観品質優る。
福島66号	収量優る。
山形158号	出穂期が遅い。収量、外観品質優る。千粒重大きい。

令和7年度 優良品種決定調査に供する品種 (稲)

令和7年2月3日
古川農業試験場作物育種部

1 新配付系統 東北247号について

生産力予備検定及び生産力検定の結果

品種・系統	長所
東北247号	玄米品質は「ひとめぼれ」より明らかに優る。高温登熟耐性は強。食味は「ひとめぼれ」並の極良食味。

高温登熟耐性に優れた品種の早期採用に向けて、予備調査を省略し、令和7年度の基本調査本調査及び現地調査に供試する。

2 令和7年度の供試系統

1 要望される品種 イー（イ）

品種・系統	長所	供試の狙い
東北233号	・収量優る。	高温登熟耐性による高品質。
東北245号	・収量優る。	収量性に優れ、高品質、良食味。
東北246号	・収量優る。 ・外観品質やや優る。	高温登熟耐性による高品質。
東北247号	・高温登熟耐性”強”。 ・外観品質優る。	高温登熟耐性による高品質。
山形165号	・収量、外観品質優る。	収量性に優れ、高品質。
福島66号	・収量優る。	高温登熟耐性による高品質。
山形158号	・収量、外観品質優る。	高温登熟耐性による高品質。

※ 東北247号の長所は生産力予備検定及び生産力検定の結果。

3 令和7年度の供試系統 続き 1

2 要望される品種 イー (ハ)

品種・系統	長所	供試の狙い
東北239号	・出穂期、成熟期ともに遅い。 ・収量やや優る。 ・千粒重やや大きい。 ・低アミロース。	つや姫以降の熟期かつ やや低アミロースによる極良質、 極良食味、チルド加工適性。

3 要望される品種 イー (二)

品種・系統	長所	供試の狙い
東北245号 ※再掲	・収量優る。	収量性に優れ、高品質、良食味。

4 令和7年度の供試系統 続き 2

4 要望される品種 ロー（イ）

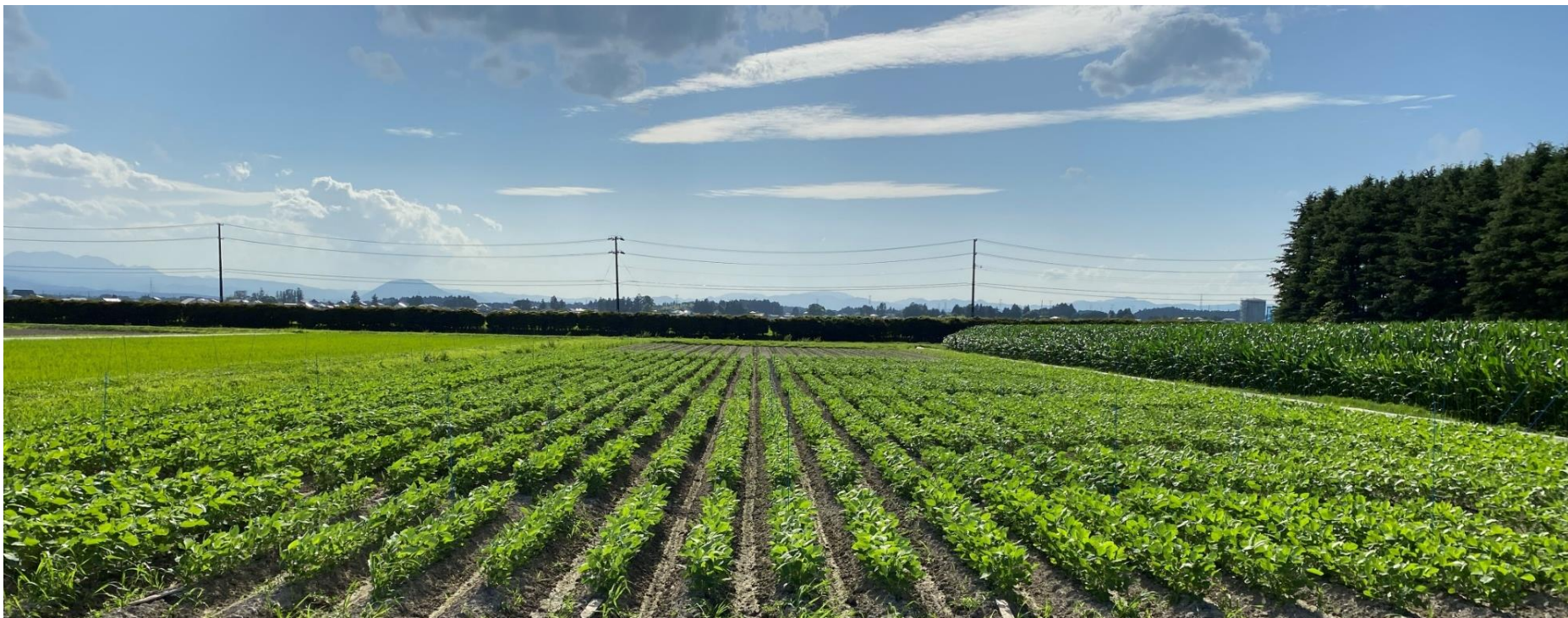
品種・系統	長所	供試の狙い
山形160号	・収量やや優る。	早生区分で収量性に優れ、業務用の品質、食味を満たす。
岩手159号	・収量優る。 ・外観品質やや優る。 ・千粒重大さい。	収量性に優れ、業務用の品質、食味を満たす。
奥羽454号	・収量、外観品質優る。	収量性に優れ、業務用の品質、食味を満たす。

5 要望される品種 ロー（ロ）

品種・系統	長所	供試の狙い
東北239号 ※再掲	・出穂期、成熟期ともに遅い。 ・収量やや優る。 ・千粒重やや大きい。 ・低アミロース。	つや姫以降の熟期かつやや低アミロースによる極良質、極良食味、チルド加工適性。

令和 6 年度大豆優良品種決定調査結果

古川農業試験場



令和6年度大豆供試系統

【要望される品種】

良質多収で機械による収穫適性及びタンパク含量が高く、加工適性に優れた以下の特性を有する品種

イ. 晩播栽培に適する品種。

ロ. ダイズシストセンチュウ抵抗性が強い品種。

ハ. 「タンレイ」より紫斑病抵抗性が強い品種。

	系統・ 品種名	要望	早晩性	供試 年数	標準品種	抵抗性等の特徴（育成地の評価）				
						紫斑病	SMV	べと病	SCN	裂莢性
本 調 査	東山239号	ハ	早生	4	（標）タンレイ	強～ 極強	AA2BCD 抵抗性	強	中	中
	関東155号	イ	中生の早	1	（標）タンレイ	-	AA2BCD 抵抗性	-	-	難
	東北191号	ロ	中生の晩	4	（標）タチナガハ	-	ABCD 抵抗性	-	強	難
	北陸6号	イ	中生の晩	1	（標）タチナガハ	-	AA2B 抵抗性	-	-	難
予備 調査	東北197号	-	中生の晩	1	（標）タチナガハ	-	ABCD 抵抗性	-	〔強〕	〔難〕
密植 適応性 調査	東北193号	-	早生	1	（標）タンレイ	-	ABCD 抵抗性	-	強	易
	東北194号	イ	中生の晩	1	（標）タンレイ	-	ABCD 感受性	-	弱	難
比較 品種	（比）ミヤギシロメ、（比）すずみのり									

（標）：標準品種(対照)、（比）：比較品種を示す。〔 〕は、DNAマーカー検定または交配組合せから推定される抵抗性等の有無。

SMV：ダイズモザイクウイルス、SCN：ダイズシストセンチュウを示す。

現地調査の（ ）内の数値は供試年数を示す。

試験区の耕種概要

＜耕種概要＞ 本調査・予備調査

試験区	標播区	晩播区
ほ場	古川農業試験場内F4圃場	
播種期	5月23日	6月25日
反復数	3区	2区
栽植密度	13.3本/m ²	26.7本/m ²
畦間	75 c m	
株間	20cm	10cm
除草剤	エコトップP乳剤（播種後） 5月25日 大豆バサグラン 7月5日 ポルトフロアブル 7月12日	エコトップP乳剤（播種後） 6月27日
中耕・培土	7月3日、7月16日	7月22日
土改剤	粒状苦土石灰（5kg/a）	
基肥	高度化成550(大豆専用) N:P:K=0.2 : 0.6 : 0.8(kg/a)	
病害虫防除 (ドローン散布)	クルーザーMAXX（種子処理） ファンタジスタフロアブル 8月14日 プレバソンフロアブル5 8月14日 プランダム乳剤 9月4日 スミチオン乳剤 9月4日	

【密植適応性調査】「東北194号」（再調査）、「東北193号」

- 大崎管内で子実トウモロコシ、大豆、乾田直播水稻の輪作体系の試験を実施（農水省委託プロ：令和5年度～令和7年度、代表機関：農研機構東北農研）
- 本プロジェクトは省力低コスト栽培体系の確立を目標としており、大豆においては**密植適応性で多収性の特徴を持つ「東北194号」を試験栽培**している
- 委託プロにはJA古川も参画しており、将来的に**現場からの品種導入の要望も想定**される
- 古試では令和4年度の予備調査で「東北194号」を供試しているが、その際は慣行の栽植密度（畝間75cm、株間20cm、2本立て）条件の評価のみ
- 現場からの要望を想定して、**密植栽培（畝間37.5cm、株間12cm、1本立て）条件の評価**を行っておく必要があり、令和6年度に密植適応性調査として供試
- 合わせて育成地により密植適応性がある系統とされる東北193号も供試

令和4年度「東北194号」の調査結果

系統・品種名		開花期	成熟期	最下	子実重	同左	百粒重	外観	概評		
				着莢高 (7.3mm)		対照比		品質	有望度	(対照品種との比較)	
		(月日)	(月日)	(cm)	(kg/a)	(%)	(g)			長所	短所
東北194号	(標播)	7/29	10/13	11.6	13.5	57	26.2	3.0	×	・ 外観品質が優る	・ 最下着莢高が低い
	(晩播)	8/7	10/21	14.4	21.6	64	28.1	4.0		・ 収量が劣る	・ 百粒重が小さい
(対)タンレイ	(標播)	7/31	10/12	19.0	23.7	100	28.8	4.0	最下着莢高が低く、収量が劣り、百粒重が小さいので打ち切り		
	(晩播)	8/9	10/23	18.9	33.5	100	33.0	4.5			

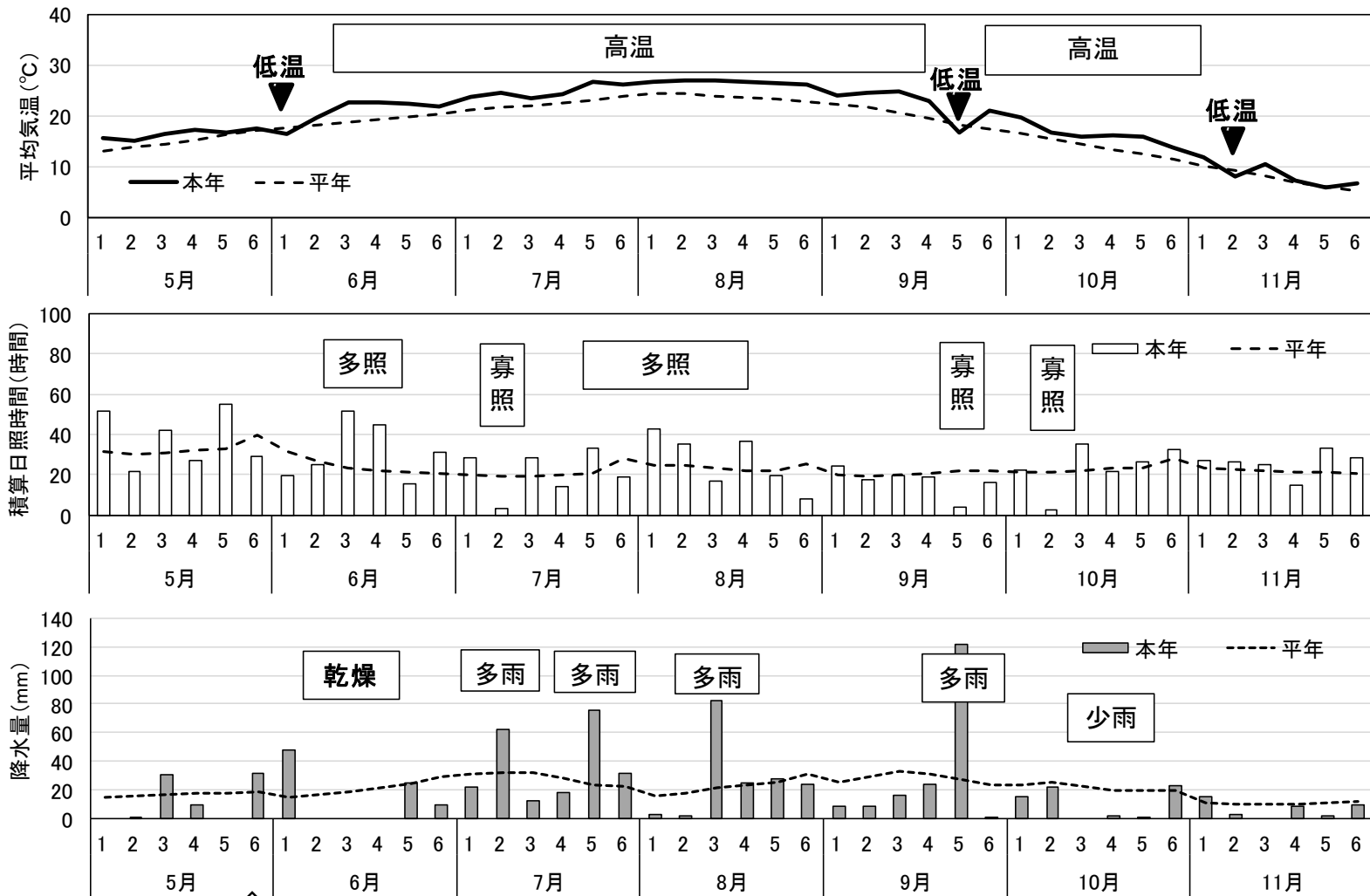
品質は、上の上:1, 上の中:2, 上の下:3, 中の上:4, 中の中:5, 中の下:6, 下:7を示す。

試験区の耕種概要

＜耕種概要＞ 密植適応性調査

試験区	標播区	晩播区	極晩播区
ほ場	宮城県古川農業試験場内B5ほ場		
播種期	5月28日	6月27日	7月25日
反復数	3区	2区	2区
栽植密度	26.7本/m ²		
畦間	37.5 c m		
株間	10cm		
除草剤	エコトップP乳剤（播種後）		
	5月28日	6月27日	7月26日
中耕・培土	なし		
土改剤	粒状苦土石灰（5kg/a）		
基肥	高度化成550(大豆専用) N:P:K=0.2 : 0.6 : 0.8(kg/a)		
病害虫防除 (ドローン散布)	クルーザーMAXX（種子処理）		
	ファンタジスタフロアブル	8月14日	プランダム乳剤 9月4日
	プレバソnfフロアブル5	8月14日	スミチオン乳剤 9月4日
	プランダム乳剤	9月4日	ファンタジスタフロアブル 9月17日
	スミチオン乳剤	9月4日	スタークル液剤10 9月17日

大豆生育期間 気象の特徴 (古川アメダス令和6年5月～令和6年11月)



標播 (5/23播種)
タンレイ、ミヤギシロメ

出芽

開花

成熟

晩播 (6/24播種ミヤギシロメ、
7/5播種タンレイ)

出芽
(ミ)

出芽
(タ)

開花

成熟

生育概況（基幹品種）

		開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	着莢節数 (節/m ²)	有効莢数 (莢/m ²)	節当莢数 (莢/節)	百粒重 (g)	子実重 (kg/a)
標播	本年	7/23	10/17	93.1	17.3	4.0	296.3	714.0	2.4	27.7	33.8
	タンレイ	7/23	10/22	81.3	16.5	5.3	390.0	862.2	2.2	32.3	47.0
	平年差・比	-0	-5	114%	105%	75%	76%	83%	109%	86%	72%
	本年	7/29	10/29	120.4	18.9	7.1	574.6	1167.4	2.0	36.3	47.7
	ミヤギシロメ	7/30	11/10	111.8	17.6	5.3	338.1	550.7	1.6	41.8	40.3
	平年差・比	-1	-12	108%	107%	135%	170%	212%	125%	87%	118%
晩播	本年	8/11	10/24	70.4	13.3	1.6	338.1	786.5	2.3	23.0	27.5
	タンレイ	8/12	10/26	65.5	12.8	2.3	378.5	691.8	1.8	27.2	33.1
	平年差・比	-1	-2	107%	104%	68%	89%	114%	127%	84%	83%
	本年	8/4	10/30	110.8	16.6	6.5	365.3	664.5	1.8	37.5	37.2
	ミヤギシロメ	8/4	11/1	112.5	16.6	4.8	340.0	638.4	1.9	36.2	36.1
	前年差・比	0	-2	99%	100%	136%	107%	104%	97%	104%	103%

注1) 平年差・比は過去5年間の平均値との差・比

注2) 晩播ミヤギシロメはR3から調査開始で平年値がないため前年と比較

- 開花期は平年並みで、成熟期は標播区で早まった。
- タンレイでは、分枝が少なくなったことで着莢節数が少なかった。標播区では有効莢数も少なかった。
- ミヤギシロメでは、分枝が多くなったことで着莢節数、有効莢数も多くなった。
- 開花期以降の高温・少雨や節当莢数が大きく莢付きが良かったためか、百粒重が小さくなった。
- タンレイでは平年よりも子実重が少なくなり、ミヤギシロメでは平年以上となった。

令和6年度試験成績（本調査）

※評価に関係した項目のみ表示

		開花期 (月日)	成熟期 (月日)	諸障害		最下 着莢高 (cm)	粗子実重 (kg/a)	同左 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質 (1-7)	障害粒	
				倒伏 程度	青立 程度						紫斑	褐斑
				(0-5)	(0-5)						(0-5)	(0-5)
東山239号	(標播)	7/21	10/23	0.3	0.0	22.5	48.1	150	34.3	4.3	0	0
	(晩播)	8/7	10/24	1.0	1.0	20.3	61.0	111	30.6	4.0	1	1
関東155号	(標播)	7/22	10/23	0.1	3.0	14.2	51.6	161	29.8	5.3	2	1
	(晩播)	8/7	10/29	1.0	1.0	12.1	54.5	99	27.5	5.5	1	1
(対)タンレイ	(標播)	7/22	10/25	0.0	3.2	16.8	32.1	100	31.5	5.7	2	1
	(晩播)	8/7	10/25	1.0	2.0	10.1	54.9	100	28.6	5.5	1	1
東北191号	(標播)	7/22	10/25	0.0	2.3	18.2	37.3	112	35.0	5.0	0	0
	(晩播)	8/7	11/2	0.5	2.5	19.5	48.5	67	36.0	5.0	0	1
北陸6号	(標播)	7/24	10/24	0.0	1.0	13.6	42.5	127	33.7	5.0	0	0
	(晩播)	8/9	10/29	0.5	2.0	20.0	48.0	66	36.9	4.5	1	1
(対)タチナガハ	(標播)	7/22	11/2	0.0	4.3	14.7	33.4	100	38.0	5.0	1	1
	(晩播)	8/9	11/18	0.5	4.0	19.0	72.9	100	38.3	4.5	0	1
(比)ミヤギシロメ	(標播)	7/26	11/2	1.3	3.0	22.9	48.3	—	40.4	5.7	0	1
	(晩播)	8/11	11/8	1.0	4.0	14.8	45.6	—	41.4	4.5	0	1
(比)すずみのり	(標播)	7/25	10/30	0.0	2.7	18.9	34.7	—	36.9	5.0	0	0
	(晩播)	8/7	11/2	2.0	3.0	22.4	58.8	—	33.9	4.0	0	1

注1) 諸障害の発生程度は、無:0,微:1,少:2,中:3,多:4,甚:5を示す。

注2) 品質は、上の上:1,上の中:2,上の下:3,中の上:4,中の中:5,中の下:6,下:7を示す。

供試系統の評価（本調査）

系統・品種名		有望度		概評
本 調 査	東山239号	○	やや有望	特性を把握したため次年度は供試しない
	関東155号	◇	再検討	収量性や被害粒の発生程度等の年次変動を見るため再検討
	東北191号	○	やや有望	特性を把握したため次年度は供試しない
	北陸6号	◇	再検討	収量性や被害粒の発生程度等の年次変動を見るため再検討
◎：有望 ○：やや有望 ◇：再検討 △：やや劣る ×：劣る				

供試系統（東山239号、東北191号）の評価（現地調査）

○東山239号

実施場所	粗子実重	外観品質	有望度	概評
涌谷町	34.1 kg/a (137)	3 (-1)	有望	生育の経過はタンレイよりやや遅いが見えたが、落葉～成熟は早かった。最下着莢高が高く作業性が高いと思われ、収量性、外観品質に優れる。早生の系統として有望と考えられる。
石巻市和刈	37.7kg/a (136)	3 (-1)	有望	タンレイと比較して、開花期・成熟期が同等であり、子実重・品質で優っている。紫斑粒の発生が少なく、加えて莢ずれの発生が顕著に少ないこともタンレイより優れている。

粗子実重の（）は対タンレイ比、外観品質の（）は対タンレイ差でマイナスだと優れることを示す。

外観品質は、上の上：1、上の中：2、上の下：3、中の上：4、中の中：5、中の下：6、下：7を示す。

○東北191号

実施場所	粗子実重	外観品質	有望度	概評
涌谷町	31.0 kg/a (89)	4 (0)	やや劣る	成熟はタチナガハと同程度からやや早い。最下着莢高が高く作業性に優れると推測される。百粒重はタチナガハとほぼ同程度で、今年度は収量の面で劣った。単年度の成績としては対照品種と比較して収量面でやや劣る。
登米市豊里	27.2 kg/a (98)	4 (0)	再検討	タチナガハと比較して、開花期や成熟期が早いため、作期の分散が図られる。また最下着莢高が高く、機械作業性は優る。収量・品質に大きな差はないが百粒重は軽かったことから、再検討とした。

粗子実重の（）は対タチナガハ比、外観品質の（）は対タチナガハ差でマイナスだと優れることを示す。

外観品質は、上の上：1、上の中：2、上の下：3、中の上：4、中の中：5、中の下：6、下：7を示す。

令和6年度試験成績（予備調査・密植適応性調査）

※評価に関係した項目のみ表示

		開花期 (月日)	成熟期 (月日)	諸障害		最下 着莢高 (cm)	粗子実重 (kg/a)	同左 対照比 (%)	百粒重 (g)	外観 品質 (1-7)	障害粒	
				倒伏	青立						紫斑	褐斑
				程度 (0-5)	程度 (0-5)						(0-5)	(0-5)
東北197号	(標播)	7/23	10/25	0.0	2.3	16.8	34.9	104	34.8	4.7	1	0
	(晩播)	8/9	11/2	0.0	2.0	16.5	54.5	75	34.1	4.0	1	1
(対)タチナガハ	(標播)	7/22	11/2	0.0	4.3	14.7	33.4	100	38.0	5.0	1	1
	(晩播)	8/9	11/18	0.5	4.0	19.0	72.9	100	38.3	4.5	0	1
東北194号	(標播)	7/22	10/24	4.0	0.0	18.6	49.6	72	27.7	6.0	1	1
	(晩播)	8/8	10/29	3.5	1.0	14.4	59.1	110	27.2	5.5	1	0
東北193号	(晩播)	7/29	10/26	1.0	0.5	12.9	39.3	73	32.9	5.5	1	0
	(極晩播)	8/19	11/9	0.0	0.0	9.7	25.0	47	37.8	6.0	1	0
(対)タンレイ	(標播)	7/22	10/25	2.3	0.0	11.9	69.0	100	29.7	5.7	2	1
	(晩播)	8/8	10/30	3.5	2.0	10.7	53.6	100	28.9	5.0	1	0

注1) 諸障害の発生程度は、無:0,微:1,少:2,中:3,多:4,甚:5を示す。

注2) 品質は、上の上:1,上の中:2,上の下:3,中の上:4,中の中:5,中の下:6,下:7を示す。

供試系統の評価（予備調査・密植適応性調査）

系統・品種名		有望度		概評
予備 調査	東北197号	◇	再検討	栽培適性や収量性等の年次変動をみるため 再検討
	東北194号	△	やや劣る	特性を把握したため次年度は供試しない
密 植 適 応 性	東北193号	◇	再検討	育成地で供試を中止することから次年度は 供試しない
◎：有望 ○：やや有望 ◇：再検討 △：やや劣る ×：劣る				

今後の予定

【令和6年産の加工適性試験】

- 豆乳抽出試験
- 豆腐加工試験

東山239号、

タンレイ、ミヤギシロメ、すずみのり、（タチナガハ）

【令和7年度の供試系統】

- 再検討の系統

関東155号、北陸6号、東北197号

標準品種：タンレイ、タチナガハ

比較品種：ミヤギシロメ、すずみのり

- 追加の系統

予備調査の供試系統は3月末頃に確定する見込み

- 現地調査の系統

関東155号、北陸6号